

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

藤田医科大学病院発 第67号
令和 4年 10月 5日
開設者名 学校法人 藤田学園
理事長 星長 清隆

藤田医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98
氏名	学校法人藤田学園 理事長 星長 清隆

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

藤田医科大学病院

3 所在の場所

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98
電話(0562) 93 - 2111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科	有		
内科と組み合わせた診療科名等			
1呼吸器内科	2消化器内科	3循環器内科	4腎臓内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		11リウマチ科
診療実績			
神経内科:脳神経内科にて医療を提供している 令和元年6月1日より、神経内科は脳神経内科に変更となりました。			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科				有			
外科と組み合わせた診療科名							
1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科	
5血管外科		6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科	
診療実績							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科		2小児科		3整形外科		4脳神経外科	
5皮膚科		6泌尿器科		7産婦人科		8産科	
9婦人科		10眼科		11耳鼻咽喉科		12放射線科	
13放射線診断科		14放射線治療科		15麻酔科		16救急科	

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
1小児歯科		2矯正歯科		3歯科口腔外科			
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	形成外科	2	リハビリテーション科	3	病理診断科	4	脳神経内科	5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
51	0	0	0	1,325	1,376

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	573	15.13125	588.1
歯科医師	13	0.6438	13.64
薬剤師	125	2.6	127.6
保健師	0	0	0
助産師	65	0.9	65.9
看護師	1455	11.6	1467
准看護師	3	0	3
歯科衛生士	10	0.4	10.4
管理栄養士	24	1.8	25.8

職種	員数
看護補助者	105
理学療法士	93
作業療法士	58
視能訓練士	15
義肢装具士	0
臨床工学士	46
栄養士	5
歯科技工士	2
診療放射線技師	101

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	132
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	17	
その他の技術員	35	
事務職員	211	
その他の職員	169	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	59.7	眼科専門医	9
外科専門医	65.1	耳鼻咽喉科専門医	8
精神科専門医	13.2	放射線科専門医	18.2
小児科専門医	29.3	脳神経外科専門医	15
皮膚科専門医	5.1	整形外科専門医	18.7
泌尿器科専門医	11	麻酔科専門医	18.1
産婦人科専門医	14	救急科専門医	136
		合計	420.4

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (白木 良一) 任年月日 令和 3 年 9 月 1日

令和3年9月1日より院内における医療問題対策委員会の委員長を務めている

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	1,236.20 人	7 人	1,243.20 人
1日当たり平均外来患者数	3,228.00 人	126.6 人	3,354.60 人
1日当たり平均調剤数	外来2688.3、入院1705.1		剤
必要医師数	316		人
必要歯科医師数	7.2		人
必要薬剤師数	56		人
必要(准)看護師数	726		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数		心電計	
集中治療室	1,333.20 m ²	鉄筋コンクリート	68 床	有	有	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 166.44 m ²		病床数	12 床		
	[移動式の場合] 台数 台					
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 95.22 m ²					
	[共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	314.4 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	生化学自動分析装置、自動血球計数装置		
細菌検査室	126.4 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	質量分析装置、細菌培養・同定装置		
病理検査室	230.00 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	卓上換気装置つき実験台		
病理解剖室	51.050 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	電動昇降式L型解剖台		
研究室	##### m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)			
講義室	##### m ²	鉄筋コンクリート	室数 9 室	収容定員	720 人	
図書室	##### m ²	鉄筋コンクリート	室数 12 室	蔵書数	168,749 冊程度	

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	89 %	逆紹介率	62.1 %
算出根拠	A: 紹介患者の数	25,218 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	24,337 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	9,649 人	
	D: 初診の患者の数	39,143 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
稲葉 一人	中京大学法務総合教 育研究機構教授		法律に関する見識者	無	1
後藤 克幸	CBCテレビ 論説室解説委員		メディアの医療安全に 関する見識者	無	1
小浮 正典	豊明市長		一般市民の代表者	無	2
堀口 明彦	藤田医科大学 ばんだね病院 病院長		医療に関する 学識経験者	有	1
金田 嘉清	藤田医科大学 保健衛生学部長		医療に関する 学識経験者	有	1

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
藤田医科大学病院ホームページ上にて公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	傍腫瘍性抗神経抗体スクリーニング	取扱患者数	79人
当該医療技術の概要 リコンビナント抗原を用いた免疫プロットキットによる11種類(GAD65、Zic4、Tr、SOX1、Ma1、Ma2、Amphysin、CV2、Ri、Yo、HuD)の抗神経抗体のスクリーニング			
医療技術名	自己免疫性脳炎関連抗体スクリーニング	取扱患者数	32人
当該医療技術の概要 特異的抗原を発現させた細胞の間接免疫蛍光染色による6種類(NMDA、AMPA1、AMPA2、CASPR2、LGI1、GABAR1/B2)の自己免疫性脳炎関連抗体のスクリーニング			
医療技術名	多血小板血漿(PRP)療法	取扱患者数	52人
当該医療技術の概要 変形性関節症の患者の血液から血小板成分を抽出し、自身の変形した膝関節内にその成分を注射するもの			
医療技術名	ロボット支援膀胱腫瘍根治術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 膀胱腫瘍は、膀胱や膣の近傍に対しての手術の合併症(たとえば子宮摘出術など)、その他、放射線などの治療が原因で起こる医原性の疾患であることが多く、ロボットを用いることにより、膀胱壁と膣壁の狭い空間内で剥離し、瘢痕組織を除去して縫合するため、低侵襲治療が可能となる。			
医療技術名	出生前遺伝学的検査技術	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 出生前検査は、羊水採取により、胎児の染色体検査をするのが一般的であるが、本検査技術は、重篤な遺伝性疾患の保因者夫婦が妊娠した際に、個々のバリエーションに応じた胎児の遺伝子解析を行い、罹患の有無を検出する先端的出生前検査法である。			
医療技術名	子宮悪性腫瘍手術(広汎切除)(腹腔鏡下)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 日本産婦人科学会が高難度新規医療技術に指定する手術。従来は開腹手術でおこなっていた広汎子宮全摘出術を腹腔鏡を用いて手術を行う。			
医療技術名	腹腔鏡下傍大動脈リンパ節廓清術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 日本産婦人科学会が高難度新規医療技術に指定する手術。従来は開腹手術にて傍大動脈のリンパ節を摘出していたが、腹腔鏡を用いて行う手術。			
医療技術名	広汎子宮頸部摘出術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 日本産婦人科学会が高難度新規医療技術に指定する手術。子宮頸がんで妊孕能温存を希望された場合に行う手術。子宮頸部の一部を切除し、子宮を温存する方法。			
医療技術名	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術、鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 内視鏡を口から挿入し、病気をモニターに映し出しながら口から入れた器具を使って癌を摘出する。首に傷がつかず、またこれまでの治療法に比べて飲み込み(嚥下)や声(発声)の機能を温存できるというメリットがある。			
医療技術名	ロボット支援下咽喉頭悪性腫瘍手術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術、鏡視下喉頭悪性腫瘍手術において、da Vinciサージカルシステムを用いてロボット支援窩下に行う手術。			
医療技術名	内視鏡補助下甲状腺手術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 頸部の目立つ位置に切開を置かず、腋窩や鎖骨下の目立たない位置に小切開を置いて、内視鏡補助下に甲状腺切除を行う手術。			

医療技術名	経外耳道的内視鏡下耳科手術	取扱患者数	24人
当該医療技術の概要			
従来の顕微鏡手術は、耳後を大きく切開し外耳道の皮膚を大きく剥がして手術を行うが、本手術では耳の穴から内視鏡を入れモニターに映し出される画像を見ながら手術をする。身体への負担が少なく、傷がほとんど目立たない低侵襲手術。			
医療技術名	胸・腹水濾過濃縮再静注法	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要			
胸・腹水を体内から採取し、濾過器を用いてがん細胞等を除去したのち、濃縮器で濃縮し、Alb等の体に有用な栄養素を再び点滴で体内に戻す方法			
医療技術名	鼠径ヘルニアロボット手術	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要			
daVinciを使用した低侵襲手術			
医療技術名	大動脈瘤に対するchimney法を用いたステントグラフト治療	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
大動脈瘤の治療にステントグラフトを用いることが多くなってきているが、その際分枝を閉塞しないように小口径のステントグラフトを予め分枝に挿入しておいて、血流を確保した上でその分枝をカバーするようにステントグラフトを留置する方法。			
医療技術名	ロボット支援下副腎摘出術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いた副腎摘出術の施行			
医療技術名	脊髄電気刺激療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
遷延性意識障害患者に対し、上位頸髄硬膜外に電極を留置して電気刺激を行うことで意識状態の改善を図る。			
医療技術名	超高磁場3T MR装置でのDynamic perfusion MRIによる定量的肺結節鑑別診断	取扱患者数	200
当該医療技術の概要			
肺癌などの悪性腫瘍が疑われる肺結節の鑑別診断として超高磁場3T MR装置によるDynamic contrast-enhanced perfusion MRI(ダイナミック造影灌流MRI)を用いて定量的血流解析を行い、生検や治療の必要性や良・悪性鑑別診断を行う。			
医療技術名	面検出器型CTによる高時間分解能Dual-Energy CTを用いた肺血流解析による肺血栓塞栓症の診断および治療効果判定	取扱患者数	200
当該医療技術の概要			
肺血栓塞栓症の診断や治療効果判定として面検出器型CTを用いてDual-Energy CTを用いた血流解析を行う。			
医療技術名	酸素造影MRIによる慢性閉塞性肺疾患(Chronic Obstructive Pulmonary Disease)の重症度評価	取扱患者数	100
当該医療技術の概要			
肺癌などのCOPDを有する患者の重症度評価及び呼吸機能評価として酸素造影MRIによる局所肺機能評価を行う。			
医療技術名	MRIを用いた肺癌患者の転移リンパ節診断	取扱患者数	200
当該医療技術の概要			
肺癌患者におけるN因子診断としてShort T1 Inversion Recovery法や拡散強調像を用いたリンパ節転移診断を行い、PET/CTと相補的に用いて、診断能向上を行う。			
医療技術名	人工知能、逐次近似再構成及び逐次再構成を用いた低線量CTによる画像診断と患者被曝低減	取扱患者数	5000人
当該医療技術の概要			
人工知能、逐次禁止再構成及び逐次再構成を用いた新たな再構成法により、画質劣化や診断能に影響することなく、低線量CTを臨床応用し、患者X被曝の低減を行い、適切な被ばく管理を行う。			
医療技術名	Compressed Sensing法による高速撮像MRIによる画像診断	取扱患者数	2500人
当該医療技術の概要			
新たな高速撮像法であるCompressed Sensing法を用いた高速撮像MRIによるより精度の高い画像診断の提供			
医療技術名	MRIを用いた悪性腫瘍のMolecular Imagingによる画像診断	取扱患者数	40人

当該医療技術の概要 新たなMRによる分子イメージング法であるCEST法, 拡散強調像による肺癌および脳腫瘍の新たな悪性腫瘍の画像診断			
医療技術名	人工知能による肺疾患の重症度評価	取扱患者数	200人
当該医療技術の概要 開発した人工知能による肺疾患の重症度評価および治療効果判定			
医療技術名	経皮的僧帽弁クリップ術(または経皮的僧帽弁接合不全修復術)	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 左室駆出率20%以上で症候性の高度僧帽弁閉鎖不全(クラス3+又は4+)を有する患者のうち、外科的開心術が困難な患者を対象とし、経カテーテル的に僧帽弁をクリップで把持する。2021年度は計3症例に対して施行し、合併症なく全員が独歩退院となった。			
医療技術名	ロボット支援下鼠径ヘルニア修復術	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 手術支援ロボットであるda Vinci Surgical Systemを用いて、腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術を行います。			
医療技術名	ロボット支援下スリーブ状胃切除術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 手術支援ロボットであるda Vinci Surgical Systemを用いて、腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を行います。			

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	28
取扱い患者数の合計(人)	8728人

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	26	56	ベーチェット病	383
2	筋萎縮性側索硬化症	76	57	特発性拡張型心筋症	449
3	脊髄性筋萎縮症	8	58	肥大型心筋症	276
4	原発性側索硬化症	13	59	拘束型心筋症	4
5	進行性核上性麻痺	98	60	再生不良性貧血	261
6	パーキンソン病	2,893	61	自己免疫性溶血性貧血	168
7	大脳皮質基底核変性症	80	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	110
8	ハンチントン病	8	63	特発性血小板減少性紫斑病	572
9	神経有棘赤血球症	2	64	血栓性血小板減少性紫斑病	71
10	シャルコー・マリー・トゥース病	10	65	原発性免疫不全症候群	18
11	重症筋無力症	602	66	IgA腎症	1,143
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	600
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	694	68	黄色靭帯骨化症	33
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	612	69	後縦靭帯骨化症	81
15	封入体筋炎	37	70	広範脊柱管狭窄症	36
16	クドウ・深瀬症候群	12	71	特発性大腿骨頭壊死症	198
17	多系統萎縮症	215	72	下垂体性ADH分泌異常症	225
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	373	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	178	74	下垂体性PRL分泌亢進症	3
20	副腎白質ジストロフィー	11	75	クッシング病	66
21	ミトコンドリア病	66	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	6
22	もやもや病	226	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	5
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	347
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	8
25	進行性多巣性白質脳症	4	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	22	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	6
27	特発性基底核石灰化症	5	82	先天性副腎低形成症	8
28	全身性アミロイドーシス	12	83	アジソン病	88
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	550
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	347
31	ペスレムミオパチー	3	86	肺動脈性肺高血圧症	425
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	5
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	109
34	神経線維腫症	42	89	リンパ脈管筋腫症	28
35	天疱瘡	16	90	網膜色素変性症	131
36	表皮水疱症	4	91	バッド・キアリ症候群	24
37	膿疱性乾癬(汎発型)	1	92	特発性門脈圧亢進症	44
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	46	93	原発性胆汁性肝硬変	717
39	中毒性表皮壊死症	10	94	原発性硬化性胆管炎	151
40	高安動脈炎	100	95	自己免疫性肝炎	462
41	巨細胞性動脈炎	140	96	クローン病	757
42	結節性多発動脈炎	99	97	潰瘍性大腸炎	1,626
43	顕微鏡的多発血管炎	456	98	好酸球性消化管疾患	85
44	多発血管炎性肉芽腫症	202	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	37
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	205	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	208	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	3	102	ルピンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	556	103	CFC症候群	15
49	全身性エリテマトーデス	3,771	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	1,279	105	チャージ症候群	6
51	全身性強皮症	478	106	クリオピリン関連周期熱症候群	2
52	混合性結合組織病	457	107	若年性特発性関節炎	4
53	シェーグレン症候群	2,592	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	327	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	8
55	再発性多発軟骨炎	71	110	ブラウ症候群	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	15	161	家族性良性慢性天疱瘡	20
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	32
113	筋ジストロフィー	30	163	特発性後天性全身性無汗症	6
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	63	165	肥厚性皮膚骨膜炎	1
116	アトピー性脊髄炎	10	166	弾性線維性仮性黄色腫	3
117	脊髄空洞症	91	167	マルファン症候群	69
118	脊髄髄膜瘤	26	168	エーラス・ダンロス症候群	23
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	14	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	125
122	脳表ヘモジデリン沈着症	14	172	低ホスファターゼ症	23
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	18
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	31	177	ジュベール症候群関連疾患	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	16	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重症型(二相性)急性脳症	13	179	ウィリアムズ症候群	17
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	9
132	先天性核上性球麻痺	8	182	アペール症候群	5
133	メビウス症候群	4	183	ファイファー症候群	6
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	15	186	ロスムンド・トムソン症候群	1
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	4
138	神経細胞移動異常症	6	188	多脾症候群	9
139	先天性大脳白質形成不全症	3	189	無脾症候群	9
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	7	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	2	192	コケイン症候群	7
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	17	193	ブラダー・ウィリ症候群	23
144	レノックス・ガストー症候群	37	194	ソトス症候群	1
145	ウエスト症候群	98	195	ヌーナン症候群	13
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	2	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	13	199	5p欠失症候群	1
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	3	201	アンジェルマン症候群	21
152	P CDH19関連症候群	1	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重症型急性脳炎	5	203	22q11.2欠失症候群	10
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	8	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	8	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	249	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	7	210	単心室症	2

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	5	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	14	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	53	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	32	264	無リボタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	35	266	家族性地中海熱	50
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	319	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	35	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	110
222	一次性ネフローゼ症候群	33	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	155
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	7
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	17	274	骨形成不全症	26
227	オスラー病	15	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	41	276	軟骨無形成症	21
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	3	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	5
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレネー・ウェーバー症候群	3
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	2	282	先天性赤血球形成異常性貧血	1
235	副甲状腺機能低下症	316	283	後天性赤芽球癆	2
236	偽性副甲状腺機能低下症	19	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	279	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	17	287	エプスタイン症候群	3
240	フェニルケトン尿症	96	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	11
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	8
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	31
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	23	292	総排泄腔外反症	4
245	プロピオン酸血症	29	293	総排泄腔遺残	24
246	メチルマロン酸血症	33	294	先天性横隔膜ヘルニア	9
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	7	296	胆道閉鎖症	187
249	グルタル酸血症1型	11	297	アラジール症候群	10
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	33	299	嚢胞性線維症	16
252	リジン尿性蛋白不耐症	18	300	IgG4関連疾患	242
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	52
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	4
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	11	305	遅発性内リンパ水腫	4
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	55	306	好酸球性副鼻腔炎	111

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
0	カナバン病	326	大理石骨病	4
0	進行性白質脳症	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
0	進行性ミオクローヌステんかん	328	前眼部形成異常	0
0	先天異常症候群	329	無虹彩症	0
0	先天性三尖弁狭窄症	330	先天性気管狭窄症	13
8	先天性僧帽弁狭窄症	331	特発性多中心性キャスルマン病	36
1	先天性肺静脈狭窄症	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
0	左肺動脈右肺動脈起始症	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
1	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
4	カルニチン回路異常症	335	ネフロン癆	0
5	三頭酵素欠損症	336	家族性低リポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
15	シトリン欠損症	337	ホモシスチン尿症	11
0	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	338	進行性家族性管内胆汁うっ滞症	3
0	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症			
0	非ケトーシス型高グリシン血症			
0	ケチオラーゼ欠損症			
0	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症			
0	メチルグルタコン酸尿症			
3	遺伝性自己炎症疾患			

疾患数	338
合計患者数(人)	32076

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・ハイリスク分娩管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・後発医薬品使用体制加算3
・特定機能病院入院基本料(一般 7対1、精神 7対1)	・病棟薬剤業務実施加算1
・障害者施設等入院基本料(10対1)	・病棟薬剤業務実施加算2
・救急医療管理加算	・データ提出加算
・超急性期脳卒中加算	・入退院支援加算1
・診療録管理体制加算1	・入退院支援加算3
・医師事務作業補助体制加算1(30対1)	・認知症ケア加算1
・急性期看護補助体制加算(25対1)	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・夜間急性期看護補助体制加算(100対1)	・精神疾患診療体制加算
・看護職員夜間配置加算(12対1)	・精神科急性期医師配置加算
・療養環境加算	・排尿自立支援加算
・重症者等療養環境特別加算	・地域医療体制確保加算
・無菌治療室管理加算1	・地域歯科診療支援病院入院加算
・緩和ケア診療加算	・救命救急入院料3
・精神科応急入院施設管理加算	・特定集中治療室管理料1
・精神科身体合併症管理加算	・特定集中治療室管理料2
・重度アルコール依存症入院医療管理加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・精神科リエゾンチーム加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・摂食障害入院医療管理加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・栄養サポートチーム加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・医療安全対策加算1	・小児入院医療管理料1
・感染防止対策加算1	・回復期リハビリテーション病棟入院料1
・患者サポート体制充実加算	・緩和ケア病棟入院料1
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療医療管理料	・地域連携診療計画加算
・外来栄養食事指導料の注2	・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	・医療機器安全管理料1
・糖尿病合併症管理料	・医療機器安全管理料2
・がん性疼痛緩和指導管理料	・医療機器安全管理料(歯科)
・がん患者指導管理料イ	・精神科退院時共同指導料1及び2
・がん患者指導管理料ロ	・歯科疾患在宅療養管理料の注4に規定する在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料
・がん患者指導管理料ハ	・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2
・がん患者指導管理料ニ	・在宅療養後方支援病院
・外来緩和ケア管理料	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・糖尿病透析予防指導管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・皮下連続式グルコース測定
・婦人科特定疾患治療管理料	・遺伝学的検査
・腎代替療法指導管理料	・有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査
・院内トリアージ実施料	・有床義歯咀嚼機能検査2の口及び咬合圧検査
・外来放射線照射診療料	・精密触覚機能検査
・ニコチン依存症管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算	・BRCA1/2遺伝子検査
・がん治療連携計画策定料	・がんゲノムプロファイリング検査
・外来排尿自立指導料	・先天性代謝異常症検査
・肝炎インターフェロン治療計画料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
・薬剤管理指導料	・検体検査管理加算()

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・検体検査管理加算()	・心臓MRI撮影加算
・国際標準検査管理加算	・乳房MRI撮影加算
・遺伝カウンセリング加算	・小児鎮静下MRI撮影加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・頭部MRI撮影加算
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・全身MRI撮影加算
・胎児心エコー法	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・外来化学療法加算1
・ヘッドアップティルト試験	・連携充実加算
・人工臓器検査、人工臓器療法	・無菌製剤処理料
・終夜睡眠ポリグラフィー(安全精度管理下で行うもの)	・心大血管疾患リハビリテーション料()
・神経学的検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料()
・補聴器適合検査	・運動器リハビリテーション料()
・黄斑局所網膜電図	・呼吸器リハビリテーション料()
・全視野精密網膜電図	・がん患者リハビリテーション料
・小児食物アレルギー負荷検査	・歯科口腔リハビリテーション料2
・内服・点滴誘発試験	・経頭蓋磁気刺激療法
・経気管支凍結生検法	・救急患者精神科継続支援料
・画像診断管理加算1	・精神科作業療法
・画像診断管理加算3	・認知療法・認知行動療法1
・遠隔画像診断	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・ポジロン断層撮影	・医療保護入院等診療料
・ポジロン断層・コンピューター断層複合撮影	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1
・CT撮影及びMRI撮影	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1
・冠動脈CT撮影加算	・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・硬膜外自家血注入
・外傷全身CT加算	・エタノールの局所注入(甲状腺)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、 下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
・人工腎臓(慢性維持透析を行った場合)	・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、 内視鏡下バセウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、 内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき) (MRIによるもの)
・CAD/CAM冠	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及び センチネルリンパ節生検(併用)
・歯科技工加算1及び2	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及び センチネルリンパ節生検(単独)
・センチネルリンパ節加算	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清 を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除(腋窩郭清を 伴うもの))
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術 の注に掲げる処理骨再建加算	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に 限る。)	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体) (同種骨移植(特殊なものに限る。)))	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植 術に限る。)	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
・椎間板内酵素注入療法	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除 (横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超え るもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・同種死体肺移植術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、 内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、等
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激 装置交換術(便失禁)	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激 装置交換術(過活動膀胱)	・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・角膜移植術(内皮移植加算)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの))	・胸腔鏡下弁形成術
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・胸腔鏡下弁形成術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・網膜付着組織を含む硝子体切除術 (眼内内視鏡を用いるもの)	・経カテーテル大動脈弁置換術
・網膜再建術	・胸腔鏡下弁置換術
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術 (軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・経皮的僧帽弁クリップ術
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル手術によるもの)
・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	・経皮的中隔心筋焼灼術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・補助人工心臓	・同種死体腎移植術
・植込型補助人工心臓(非拍動流型)	・生体腎移植術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・膀胱水圧拡張術
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除術によるもの)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下仙骨腔固定術
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・体外衝撃波胆石破碎術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下肝切除術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・生体部分肝移植術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・口腔病理診断管理加算2
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・輸血管理料	・歯科矯正診断料
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・自己クリオプレシテート作製術(用手法)	・同種死体臍島移植術
・同種クリオプレシテート作製術	・生体部分肺移植術
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・頭蓋内電極植込術(脳深部電極によるもの(7本以上の電極による場合)に限る。)
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・脳波検査診断料1
・麻酔管理料()	
・麻酔管理料()	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療(IMRT)	
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
・画像誘導密封小線源治療加算	
・病理診断管理加算2	
・悪性腫瘍病理組織標本加算	

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
補体第4成分(C4)と精神疾患の包括的関連研究: MHCの関連	池田 匡志	精神科	7,930,000	補委 文部科学省
FCMDのジストログリカン糖鎖のホメオスタシスに着目した治療法開発	池田 真理子	臨床遺伝科	4,420,000	補委 文部科学省
ICTを利用した医療機関での脳卒中急性期医療の包括的改善	松本 省二	脳卒中科	7,150,000	補委 文部科学省
補体第二経路に着目した微小血管傷害発症メカニズムの解明	山田 成樹	臨床薬剤科	1,560,000	補委 文部科学省
遺伝子多型情報に基づく抗精神病薬の適正投与量設定へ向けた薬理ゲノム学研究	齋藤 竹生	精神科	1,430,000	補委 文部科学省
海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん発症におけるHHV-6B感染の役割解明	河村 吉紀	小児科	1,170,000	補委 文部科学省
薬剤誘導性偽閉経状態前後での血中エストロゲン分泌レベルと左室拡張能の関連性の検討	山田 晶	循環器内科	260,000	補委 文部科学省
深層学習を用いたプローブ型顕微内視鏡画像解析による新たな間質性肺炎診断	今泉 和良	呼吸器内科	1,950,000	補委 文部科学省
IL-36受容体拮抗因子欠損症と好中球性皮膚疾患の新規治療法開発のための病態解明	杉浦 一充	皮膚科	1,690,000	補委 文部科学省
難治性皮膚潰瘍におけるCD271陽性幹細胞の病態解明と革新的治療法の開発	岩田 洋平	皮膚科	1,560,000	補委 文部科学省
悪性リンパ腫疑い不明熱患者に対するリキッドバイオプシーによる診断法の確立	岡本 晃直	血液内科	1,430,000	補委 文部科学省
精緻な治療層別化を目指した悪性リンパ腫のリキッドバイオプシーによる残存病変評価	富田 章裕	血液内科	2,080,000	補委 文部科学省

インドシアニグリーンを用いた脳脊髄腫瘍の術中蛍光診断の確立と治療技術の開発	武藤 淳	脳神経外科	1,300,000	補委	文部科学省
マグネシウム合金の骨髄内での吸収機序の解明および骨折治療機器としての最適化の探求	河野 友祐	整形外科	2,340,000	補委	文部科学省
遺伝子改変マウスを用いたニューロエストロゲンが摂食行動に与える影響	西尾 永司	産婦人科	1,690,000	補委	文部科学省
転移性口腔癌細胞を用いた鶏卵漿尿膜移植法の確立と治療標的分子の同定	櫻井 浩平	臨床検査科	1,690,000	補委	文部科学省
歯科診療時のエアロゾル感染予防対策確立のための検討	佐藤 公治	歯科・口腔外科	1,560,000	補委	文部科学省
高蛋白質摂取が骨格筋機能に及ぼす影響～グルカゴンを介した臓器間相互作用～	清野 祐介	内分泌・代謝・糖尿病内科	1,690,000	補委	文部科学省
AIを活用したアナフィラキシーのRadiomics解析による検出手法の開発	服部 秀計	放射線科	2,730,000	補委	文部科学省
維持期双極性障害に対する薬物治療の有効性と安全性の検討:系統的レビューとメタ解析	奥谷 理	精神科	3,120,000	補委	文部科学省
ポリジェニックリスクスコアを利用した双極性障害、うつ病におけるCNV探索研	谷口 賢	精神科	2,470,000	補委	文部科学省
肝臓癌TACE治療用超高精細造影CTの至適検査法とナビゲーションAI開発	永田 紘之	放射線科	3,640,000	補委	文部科学省
IciHHV-6患者由来iPS細胞を用いたウイルスゲノムの神経病原性解析	三宅 未紗	小児科	1,690,000	補委	文部科学省
Muse細胞を用いた高効率な臍島移植法の確立	會田 直弘	移植・再生医学	1,560,000	補委	文部科学省
新たな細胞死necroptosisを利用した神経芽腫の分子標的治療薬の取り組み	渡邊 俊介	小児外科	1,560,000	補委	文部科学省
特異的B細胞を標的とした肺移植後慢性拒絶反応に対する新規治療法の開発	鈴木 大和	呼吸器外科	1,820,000	補委	文部科学省

ES細胞由来神経幹細胞を用いた、脳虚血に対する細胞療法への試み	五島 隆宏	救急総合内科	2,080,000	補委	文部科学省
IDH変異型アストロサイトーマの頭蓋内遠隔再発に関連する因子の同定	中江 俊介	脳神経外科	2,210,000	補委	文部科学省
口唇口蓋裂児における口唇形成術前後の口輪筋協調運動に関する筋電図学的分析	佐野 祥美	形成外科	1,950,000	補委	文部科学省
4D-CTを用いた口唇口蓋裂患者における鼻咽腔閉鎖機能の定量化	小林 義和	歯科・口腔外科	2,210,000	補委	文部科学省
運動閾値未満の磁気刺激のリハビリテーション治療への併用効果	松浦 広昂	リハビリテーション科	2,470,000	補委	文部科学省
術前栄養不良患者における投与栄養剤の違いによる手術部位感染軽減効果	山下 千鶴	麻酔科	1,820,000	補委	文部科学省
次世代遺伝子編集システムを用いたFCMDに対するスプライシングスイッチ療法の確立	池田 真理子	臨床検査科	1,820,000	補委	文部科学省
膠芽腫の標準治療後病勢を診断する血液バイオマーカーの実用化	廣瀬 雄一	脳神経外科	390,000	補委	AMED
先天性有機酸血症の新治療薬による医師主導治験研究	伊藤 哲哉	小児科	104,000,000	補委	AMED
全ゲノム関連解析を基盤とした精神疾患感受性遺伝子の機能解明	岩田 仲生	精神科	91,000,000	補委	AMED
Polygenicモデルに基づく精神疾患治療反応予測法開発と新規候補遺伝子同定	池田 匡志	精神科	15,600,000	補委	AMED
FCMD及び類縁疾患のiPSCs由来三次元培養法による疾患モデルを駆使した病態評価と低分子治療法開発	池田 真理子	臨床遺伝科	22,920,000	補委	AMED
最初期アルツハイマー病を検出する脳ナビゲーションタスクの開発とその神経回路基盤解明に関する研究開発	渡辺 宏久	脳神経内科	39,000,000	補委	AMED
喫煙者における超低線量CT検針及び肺結節鑑別診断用人工知能の開発研究	大野 良治	放射線科	2,000,000	補委	喫煙科学財団

大規模疫学研究データと診療報酬明細書(レセプト)データを用いた一般住民における統合失調症及び統合失調症関連障害の有病率推定方法の開発	岸 太郎	精神科	2,000,000	補 委	厚生労働科学研究費
高齢者医薬品適正使用推進事業に係るモデル医療機関調査	波多野 正和	臨床薬剤科	2,376,000	補 委	厚労委託事業
特発性間質性肺炎合併肺癌における術前病期診断に関する研究	星川 康	呼吸器外科	200,000	補 委	ジョンソンエンドジョンソン株式会社メディカルカンパニー
糖尿病患者における心房周囲脂肪組織の構造・機能解析と心房細動の病態解明	本池 雄二	循環器内科	1,000,000	補 委	公益財団法人 かなえ医薬振興財団
薬剤誘導性偽閉経状態前後での血中エストロゲンと左室拡張能の関連性の検討	山田 晶	循環器内科	500,000	補 委	一般財団法人 愛知健康増進財団
ロタウイルスワクチンを基盤とした進化型リコンビナント性器ヘルペスワクチン開発	吉川 哲史	小児科	2,500,000	補 委	(公財)予防接種リサーチセンター
抗体型糸球体腎炎におけるキヌレニン代謝酵素およびトリプトファン代謝物の役割分担	梅田 良祐	腎臓内科	600,000	補 委	公益財団法人 愛知腎臓財団
血栓性微小血管症の腎組織所見を反映する尿バイオマーカー探索研究	伊藤 辰将	腎臓内科	400,000	補 委	公益財団法人 愛知腎臓財団
全身性エリテマトーデス(SLE)の動脈硬化性心血管病発症に関する臨床疫学研究	林 宏樹	腎臓内科	300,000	補 委	一般財団法人 中京長寿医療研究推進財団
篤志献体を用いた解剖教育と臨床応用,及び医師等の手術手技に関する教育・研究 ~人泌尿器外科領域の低侵襲手術手技~	白木 良一	泌尿器外科	500,000	補 委	(一般)日本泌尿器内視鏡学会
RARCにおける腫瘍再発に関する検討	全並 賢二	泌尿器外科	500,000	補 委	(一般)日本泌尿器内視鏡学会
学術集会発表の為の準備	藤田 順之	整形外科	1,000,000	補 委	ジンマー・バイオメット
進行胃癌に対するロボット支援手術の腫瘍学的長期生存の検討	中内 雅也	先端ロボット・内視鏡手術学	500,000	補 委	公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団

高齢2型糖尿病患者に対するサルコペニア・骨粗鬆症の評価と治療介入	清野 祐介	内分泌・代謝・糖尿病内科	5,000,000	補 委	(公社)日本糖尿病協会
がん代謝を標的とした悪性脳腫瘍に対する新規治療法の開発	大場 茂生	脳神経外科	2,500,000	補 委	(公財)大幸財団
神経内視鏡手術の確実性向上に寄与するリアルタイム術中蛍光造影の確立	武藤 淳	脳神経外科	500,000	補 委	(公財)内視鏡医学研究振興財団
がん代謝を標的とした悪性脳腫瘍に対する新規治療法の開発	大場 茂生	脳神経外科	250,000	補 委	(公財)愛知県がん研究振興会
自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、移行医療体制の構築、診療ガイドライン確立の研究	杉浦 一充	皮膚科	400,000	補 委	愛知県特定疾患協議会
間葉系幹細胞由来「細胞外小胞」を応用したT細胞急性リンパ芽球性白血病の治療開発	藤井 紀恵	輸血細胞治療科	500,000	補 委	(公社)日本女医会
学術集会発表の為の準備	吉田 昌弘	救急科	1,100,000	補 委	ジンマー・バイオメット

計60件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される研究については、研究者の氏名を記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	本池 雄二	循環器内科	Wall thickness-based adjustment of ablation index improves efficacy of pulmonary vein isolation in atrial fibrillation: Real-time assessment by intracardiac echocardiography	J Cardiovasc Electrophysio. l2021 Jun;32(6):1620-1630.	Original Article
2	河合 秀樹	循環器内科	Association of computed tomography-derived myocardial mass with fractional flow reserve-verified ischemia or subsequent therapeutic strategy	Heart Vessels. 2021 Aug;36(8):1099-1108.	Original Article
3	成瀬 寛之	循環器内科	Combined Assessment of D-Dimer with the Get with the Guidelines-Heart Failure Risk Score and N-Terminal Pro-B-Type Natriuretic Peptide in Patients with Acute Decompensated Heart Failure with Preserved and Reduced Ejection Fraction	Journal of clinical medicine. 2021 Aug 13;10(16):3564.	Original Article
4	成瀬 寛之	循環器内科	Immunogenicity of BNT162b2 mRNA COVID-19 Vaccine in Patients with Cardiovascular Disease	Journal of clinical medicine. 2021 Nov 24;10(23):5498.	Original Article
5	山田 晶	循環器内科	Time to Make the Most Use of Three-Dimensional Global Strains in Daily Clinical Practice	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society. 2021 Sep 24;85(10):1744-1745	Others
6	星野 直樹	循環器内科	Recurrent mitral regurgitation with haemolytic anaemia after MitraClip procedure: an autopsy case report	European Heart Journal-Case Reports. 2022 Mar 6(3), 1-7	Case report
7	三重野 ゆうき	呼吸器内科	Availability of Home sleep apnea test equipment LS-140 on a comparison with Polysomnography	Fujita Medical Journal	Original Article
8	堀口 智也	呼吸器内科	Budd-Chiari syndrome caused by latent hepatic metastasis from a thymoma	Respiratory Medicine Case Reports	Case report
9	堀口 智也	呼吸器内科	Fatal disseminated mucormycosis associated with COVID-19	Respirology Case Reports	Case report
10	岡村 拓哉	呼吸器内科	Celecoxib induced respiratory symptoms without urinary LTE 4 increase in a patient with AERD	Allergology International	Case report
11	長谷川 みどり	腎臓内科	Evaluation of the performance, operability, and safety of Plasauto μ , a new type of machine for cell-free and concentrated ascites reinfusion therapy, in a postmarketing clinical study	Ther Apher Dial. 2021 Aug;25(4):407-414	Original Article
12	大山 翔也	腎臓内科	Vitamin K2 supplementation and the progression of abdominal aortic calcification in dialysis patients	Fujita Med J. 2021;7(4):136-138.	Original Article
13	清野祐介	内分泌・代謝・糖尿病内科	Eating whole fruits, not drinking fruits juice, may reduce the risk of type 2 diabetes mellitus.	Journal of diabetes investigation 2021 Oct;12(10):1759-1761	Letter
14	上野慎士	内分泌・代謝・糖尿病内科	High Protein Diet Feeding Aggravates Hyperaminoacidemia in Mice Deficient in Proglucagon-Derived Peptides.	Nutrients 2022 Feb 25;14(5):975.	Original Article

15	日比野 将也	救急総合内科	Effectiveness of decision aids on cancer-screening decision making: an umbrella review protocol	BMJ Open . 2021 Dec 8;11(12):e051156. doi:	Others
16	寺澤 晃彦	救急総合内科	Comparative accuracy of cervical cancer screening strategies in healthy asymptomatic women: A network meta-analysis	Scientific Reports 2022 Jan 7;12(1):94.	Original Article
17	五島 隆宏	救急総合内科	Treatment of acute hypernatremia caused by sodium overload in adults: A systematic review	Medicine (Baltimore) . 2022 Feb 25;101(8):e28945	Original Article
18	日比野 将也	救急総合内科	Delayed Injection Site Reaction After mRNA-1273 Vaccination in Japan: A Retrospective, Cross-Sectional Study	Open Forum Infectious Diseases 2021 Oct 3;8(10):ofab497.	Review
19	長尾 龍之介	脳神経内科	Magnetic resonance neurography in a patient with distal neuralgic amyotrophy	Internal Medicine 2021 Jun 1;60(11):1759-1761.	Case report
20	渡辺 宏久	脳神経内科	Characteristics of neural network changes in normal aging and early dementia	Frontiers in Aging Neuroscience 2021 Nov 22;13:747359.	Review
21	水谷 泰彰	脳神経内科	Severe dysautonomia in glycine receptor antibody-positive progressive encephalomyelitis with rigidity and myoclonus (PERM): a case report	Autonomic Neuroscience: Basic and Clinical 2022 Jan;237:102910.	Case report
22	二宮 光平	精神科	Pharmacogenetic-guided clozapine administration based on HLA-B*59:01 to identify high-risk patients in Japan: a cost-effectiveness analysis	Translational Psychiatry 2021 Jul 7;11(1):362.	Original Article
23	江崎 悠一	精神科	Preventive effect of morning light exposure on relapse into depressive episode in bipolar disorder	Acta psychiatrica Scandinavica 2021 Apr;143(4):328-338.	Original Article
24	岸 太郎	精神科	Mood stabilizers and/or antipsychotics for bipolar disorder in the maintenance phase: a systematic review and network meta-analysis of randomized controlled trials	Molecular Psychiatry 2021 Aug;26(8):4146-4157.	Original Article
25	岸 太郎	精神科	Effects of a conventional mood stabilizer alone or in combination with second-generation antipsychotics on recurrence rate and discontinuation rate in bipolar I disorder in the maintenance phase: a systematic review and meta-analysis of randomized, placebo-controlled trials.	Bipolar disorders Dec;23(8):789-800.	Original Article
26	岸 太郎	精神科	Omega-3 fatty acids for treating residual depressive symptoms in adult patients with bipolar disorder: A systematic review and meta-analysis of double-blind randomized, placebo-controlled trials	Bipolar disorders 2021 Nov;23(7):730-731.	Original Article
27	岸 太郎	精神科	Outcomes of patients with schizophrenia who discontinued long-acting injectable antipsychotic therapy due to adverse events: A chart review	Neuropsychopharmacology reports 2021 Sep;41(3):422-425.	Original Article
28	岸 太郎	精神科	Efficacy and safety of antipsychotic treatments for schizophrenia: A systematic review and network meta-analysis of randomized trials in Japan	Journal of psychiatric research 2021 Jun;138:444-452.	Original Article
29	岸 太郎	精神科	The Efficacy and Safety of Lacosamide for Bipolar Depression: A 12-Week Open-Label Pilot Trial	Journal of clinical psychopharmacology 2021 Mar-Apr;41(2):204-206.	Original Article
30	岸 太郎	精神科	Melatonin receptor agonists for bipolar mania: A systematic review and meta-analyses of double-blind randomized placebo-controlled trials	Bipolar disorders 2021 May;23(3):301-302.	Original Article
31	江崎 悠一	精神科	Association between circadian activity rhythms and mood episode relapse in bipolar disorder: A 12-month prospective cohort study	Translational Psychiatry 2021 Oct 13;11(1):525. doi: 10.1038/s41398-021-01652-9.	Original Article

32	岸 太郎	精神科	Differences in the incidence of lurasidone adverse events between depressive disorders and schizophrenia in double-blind, randomized, placebo-controlled trials: a meta-analysis	Psychopharmacology 2021 Dec;238(12):3585-3593.	Original Article
33	岸 太郎	精神科	Early improvement as a predictor of response to blonanserin transdermal patch in patients with schizophrenia.	SCHIZOPHRENIA RESEARCH 2022 Feb;240:231-232.	Original Article
34	岸 太郎	精神科	Pharmacological treatment for bipolar mania: a systematic review and network meta-analysis of double-blind randomized controlled trials	Molecular psychiatry 2022 Feb;27(2):1136-1144.	Original Article
35	岸 太郎	精神科	Evidence-based insomnia treatment strategy using novel orexin antagonists: A review	Neuropsychopharmacology reports 2021 Dec;41(4):450-458.	Review
36	藤田 明里	精神科	Comparison of objective and subjective sleep parameters in patients with bipolar disorder in both euthymic and residual symptomatic periods	Journal of Psychiatric Research	Original Article
37	寺部 基	精神科	Association between long-term alcohol consumption and insomnia symptoms in civil servants: Aichi Workers' Cohort Study	Fujita Medical Journal	Original Article
38	武地 一	認知症・高齢診療科	Differences in the frequency of subjective geriatric complaints along with aging and their associations with physical function, multimorbidity, and mood: A cross-sectional study	PLoS One 2022 Feb 11;17(2):e0263889.	Original Article
39	芳野 弘	認知症・高齢診療科	Influences of COVID-19 in a dementia outpatient clinic: experience from the Fujita-Health University Hospital in Aichi, Japan	Psychogeriatrics 2021 May;21(3):438-439.	Letter
40	前田 篤志	整形外科	T2 mapping of the median nerve in patients with carpal tunnel syndrome and healthy volunteers	Muscle & Nerve. 2021 May;63(5):774-777.	Original Article
41	黒岩 宇	整形外科	A case of open scapulothoracic dissociation with forequarter amputation	JSES International 2021 Jun 27;5(5):846-849.	Case report
42	佐藤 圭吾	整形外科	Preoperative prevalence of deep vein thrombosis in patients scheduled to have surgery for degenerative musculoskeletal disorders.	BMC Musculoskelet Disord 2021 Jun 4;22(1):513.	Original Article
43	立之 芳裕	整形外科	Impact of musculoskeletal disorders on healthy life expectancy in Japan.	BMC Musculoskelet Disord 2021 Aug 6;22(1):661.	Original Article
44	佐藤 圭吾	整形外科	Prescription drug survey of elderly patients with degenerative musculoskeletal disorders.	Geriatrics & Gerontology International 2022 Feb;22(2):121-126.	Original Article
45	Hiroki Takeda	脊椎外科	Collagen profiling of ligamentum flavum in patients with lumbar spinal canal stenosis	Journal of Orthopaedic Science 2021 Jul;26(4):560-565.	Others
46	Amir Zakaria, Shinjiro Kaneko, Hiroki Takeda et al.	脊椎外科	Circumferential bone fusion in adult spinal deformity via combination of oblique lateral interbody fusion and grade 2 posterior column osteotomy	Global Spine Journal 2022 Jan;0(0)	Original Article
47	有馬 豪	皮膚科	Clinical usefulness of a modified Mohs' technique and topical application of zinc oxide powder for treating skin infiltration caused by unresectable malignant tumors	Palliative Medicine Reports 2021 Jun 14;2(1):168-174.	Original Article
48	田中 義人	皮膚科	Cutaneous ischemia-reperfusion injury is exacerbated by IL-36 receptor antagonist deficiency	The Journal of the European Academy of Dermatology and Venereology 2022 Feb;36(2):295-304.	Original Article

49	福島 英彦	皮膚科	Successful rechallenge therapy for BRAF/MEK inhibitor-resistant multiple brain metastases of melanoma	The Journal of Dermatology 2021 Aug;48(8):1291-1295.	Case report
50	安田 澪奈	皮膚科	Facial contact urticaria caused by a facial cleanser and cosmetics.	Contact Dermatitis 2021 Jul;85(1):106-107.	Case report
51	杉浦 一充	皮膚科	Role of Interleukin 36 in Generalised Pustular Psoriasis and Beyond	Dermatology and therapy 2022 Feb;12(2):315-328.	Review
52	高原 健	泌尿器科	Useful predictors of progression-free survival for Japanese patients with LATITUDE-high-risk metastatic castration-sensitive prostate cancer who received upfront abiraterone acetate	International Journal of Urology Vol.29(3) : 229-234 2022/3/1	Original Article
53	高原 健	泌尿器科	Perioperative and long-term functional outcomes of robot-assisted versus open partial nephrectomy: A single-center retrospective study of a Japanese cohort	Annals of Medicine and Surgery Vol.75 : 103482 2022/3/8	Original Article
54	全並 賢二	泌尿器科	Long-Term Functional and Oncologic Outcomes of Robot-Assisted Partial Nephrectomy for Cystic Renal Tumors: A Single-Center Retrospective Study	Journal of Endurology Vol.35(7) : 1006-1012 2021/7/14	Original Article
55	全並 賢二	泌尿器科	Intracorporeal robot-assisted versus open radical cystectomy: a propensity score-matched analysis comparing perioperative and long-term survival outcomes and recurrence patterns	International journal of clinical oncology Vol.26(8) : 1514-1523 2021/8/1	Original Article
56	大脇晶子	産婦人科	Altered serum soluble furin and prorenin receptor levels in pregnancies with pre-eclampsia and fetal growth restriction	Journal of Gynecology Obstetrics and Human Reproduction	Original Article
57	三木通保	産婦人科	Lower accuracy of cytological screening for high-grade squamous intraepithelial neoplasia in women over 50 years of age in Japan	International Journal of Clinical Oncology	Original Article
58	坂部慶子	産婦人科	High serum concentrations of lipopolysaccharide binding protein in pregnancies with pre-eclampsia	Hypertension Research in Pregnancy	Original Article
59	藤井多久磨	産婦人科	Abdominal Radical Trachelectomy	Surgery Journal	Original Article
60	Mizuguchi T, Horiguchi M, Tanikawa A 他	眼科	Asymmetric photoreceptor displacement measured using the Watzke-Allen test in patients with macular hole.	Heliyon. 2021 sep 23;7(9):e08059.	Original Article
61	Mizuguchi T, Horiguchi M, Tanikawa A.	眼科	Visualization of the posterior surface of the lens nucleus with triamcinolone acetonide in phacoemulsification.	European Journal of Ophthalmology. 2021 Nov;31(6):2977-2980.	Original Article
62	Nomura R, Shimada Y, Sugimoto M 他	眼科	Comparison of Sub-Tenon's Capsule Anesthesia and Trans-Tenon's Capsule Retrobulbar Anesthesia in Vitrectomy	Fujita Medical Journal. 2021;7(3):105-109.	Original Article
63	Tanikawa A, Suzuki K, Nomura R 他	眼科	The influence of mild cataract on ISCEV standard electroretinogram recorded from mydiatic eyes	Documenta ophthalmologica. 2021 Apr;142(2):177-183.	Original Article
64	Tanikawa A, Suzuki K, Mizuguchi T 他	眼科	Unaffected retinal function in eyes with toxic anterior segment syndrome evaluated by electroretinography: case report	Journal of Cataract & Refractive Surgery Online Case Reports. 2021 Apr;9(2):e00045.	Case report
65	Nariai Y, Horiguchi M, Mizuguchi T 他	眼科	Comparison of microscopic illumination between a three-dimensional heads-up system and eyepiece in cataract surgery.	Eur J Ophthalmol. 2021 Jul; 31(4): 1817-1821.	Original Article
66	千手佑樹	リハビリテーション科	Development of a clinical tool for rating the body function categories of the ICF generic-30/rehabilitation set in Japanese rehabilitation practice and examination of its interrater reliability	BMC Medical Research Methodology	Original Article

67	加賀谷 齊	リハビリテーション科	Possible Rehabilitation Procedures to Treat Sarcopenic Dysphagia	Nutrients	Original Article
68	當山峰道	リハビリテーション科	Effects of Galvanic Vestibular Stimulation on Visual Verticality and Standing Posture Differ Based on the Polarity of the Stimulation and Hemispheric Lesion Side in Patients With Stroke	Frontiers in Neurology	Original Article
69	名倉宏高	リハビリテーション科	Effects of head flexion posture in patients with dysphagia	J Oral Rehabil	Original Article
70	大野良治	放射線科	Pulmonary Functional Imaging: Part 1-State-of-the-Art Technical and Physiologic Underpinnings	Radiology 2021;299:508-523.	Original Article
71	大野良治	放射線科	3D Oxygen-Enhanced MRI at 3T MR System: Comparison With Thin-Section CT of Quantitative Capability for Pulmonary Functional Loss Assessment and Clinical Stage Classification of COPD in Smokers	J Magn Reson Imaging 2021;53:1042-1051.	Original Article
72	大野良治	放射線科	Overview of MRI for pulmonary functional imaging	British Journal of Radiology 2022 Apr 1;95(1132):20201053	Review
73	大野良治	放射線科	Efficacy of Ultrashort Echo Time Pulmonary MRI for Lung Nodule Detection and Lung-RADS Classification	Radiology 2022;302:697-706.	Original Article
74	田中優美	放射線科	State-of-the-art MR Imaging for Thoracic Diseases.	Magn Reson Med Sci doi:10.24631 mrms.rev.2020-004	Review
75	濱淵菜邑	放射線科	A Case of Multiple Sclerosing Pneumocytomas With Calcifications: Added Functional-based Information With Dynamic Contrast-enhanced Perfusion Magnetic Resonance Imaging	J Thorac Imaging 2021;36:W109-W114.	Case report
76	辻本正和 (放射線技師)	放射線科	Two versus three dimensional regions of interest for quantifying SPECT CT images	Phys Eng Sci Med 2021; 44:365-375.	Original Article
77	辻本正和 (放射線技師)	放射線科	Automated classification of increased uptake regions in bone single-photon emission computed tomography/ computed tomography images	Nucl Med Commun 2021; 42:877-873.	Original Article
78	Fumitaka Ito, Masayuki Ito, Shinya Hayashi, et al	放射線腫瘍科	Correlations between intraplan and postplan parameters on I-125 permanent prostate brachytherapy using loose seeds or linked seeds	Nagoya J. Med. Sci. 84. 111-119, 2022	Original Article
79	Kato Y, Nishida O, Kuriyama N, et al.	麻酔科	Effects of Thrombomodulin in Reducing Lethality and Suppressing Neutrophil Extracellular Trap Formation in the Lungs and Liver in a Lipopolysaccharide-Induced Murine Septic Shock Model	Int J Mol Sci . 2021 May 6;22(9):4933.	Original Article
80	Suzuki S, Moriyama K, Hara Y, et al.	麻酔科	Comparison of myoglobin clearance in three types of blood purification modalities.	Ther Apher Dial . 2021 Aug;25(4):401-406.	Original Article
81	Hinoue T, Yatabe T, Uchiyama S, et al.	麻酔科	Influence of recombinant human-soluble thrombomodulin on extracorporeal circuit clotting in septic patients undergoing blood purification: a propensity-matched cohort study	J Artif Organs . 2021 Dec;24(4):485-491.	Original Article
82	Hinoue T, Yatabe T, Fujiwara H, et al.	麻酔科	Glucose control using an artificial pancreas in a severe COVID-19 patient on extracorporeal membrane oxygenation: a case report	J Anesth . 2021 Aug;35(4):586-590.	Case report

83	Hara Y, Yatabe T, Komatsu S, et al.	麻酔科	A case of spontaneous rectus sheath hematoma induced by lateral semi-prone positional changes during extracorporeal membrane oxygenation.	J Artif Organs . 2021 Jun;24(2):282-286.	Case report
84	Hasegawa D, Sato R, Nishida O.	麻酔科	1-blocker in sepsis	J Intensive Care . 2021 May 8;9(1):39.	Others
85	Norimasa Tsuzuki, Masanobu Usui, Akihiro Itoh, et al.	緩和医療科	Efficacy and safety of tolvaptan for refractory fluid collection and edema in the terminal cancer patients	Fujita Medical Journal . 2021 October ; 1-4 (オンライン)	Original Article
86	酒井康弘	臨床検査科	Increased chemosensitivity via BRCA2-independent DNA damage in DSS1- and PCID2-depleted breast carcinomas	Laboratory Investigation ·2021 Aug;101(8):1048-1059.	Original Article
87	酒井康弘	臨床検査科	Histology of cardiac sarcoidosis with novel considerations arranged upon a pathologic basis.	Journal of Clinical Medicine ·2022 Jan 4;11(1):251.	Original Article
88	小林 義和	口腔外科	Evaluation of Velopharyngeal Closure Function With 4-Dimensional Computed Tomography and Assessment of Radiation Exposure in Pediatric Patients: A Cross-Sectional Study	The Cleft Palate-Craniofacial Journal	Original Article
89	小林 義和	口腔外科	Effect of Morphological Findings in Computed Tomography on the Quantitative Values in Single-Photon Emission Computed Tomography for Patients with Antiresorptive Agent-related Osteonecrosis of the Jaw: A Cross-Sectional Study	Annals of Nuclear Medicine	Original Article
90	吉田 光由	歯科	Oral hypofunction and its relation to frailty and sarcopenia in community-dwelling older people	Gerodontology	Original Article
91	山田 勢至	病理診断学	Primary central nervous system lymphomas with massive intratumoral hemorrhage: Clinical, radiological, pathological, and molecular features of six cases	Neuropathology 2021	Original Article
92	小林 義和	口腔外科	Evaluation of Velopharyngeal Closure Function With 4-Dimensional Computed Tomography and Assessment of Radiation Exposure in Pediatric Patients: A Cross-Sectional Study	The Cleft Palate-Craniofacial Journal	Original Article
93	小林 義和	口腔外科	Effect of Morphological Findings in Computed Tomography on the Quantitative Values in Single-Photon Emission Computed Tomography for Patients with Antiresorptive Agent-related Osteonecrosis of the Jaw: A Cross-Sectional Study	Annals of Nuclear Medicine	Original Article
94	吉田 光由	歯科	Oral hypofunction and its relation to frailty and sarcopenia in community-dwelling older people	Gerodontology	Original Article
95	高味 良行	心臓血管外科	Prophylactic use of vacuum-assisted closure system for cannula sites: A case of extracorporeal biventricular assist devices for 295 days.	International Journal of Artificial Organs 2022 Feb;45(2):227-230	Others

96	前川 厚生	心臓血管外科	Two-Stage Surgical Treatment for Kommerell Diverticulum with a Right Aortic Arch	Gen Thorac Cardiovasc Surg 2022 Jan;70(1):83-86	Others
97	野田 美香	心臓血管外科	Hybrid repair for Kommerell's diverticulum and right aortic arch with aberrant right vertebral artery.	Fujita Medical Journal 2022 Feb;8(1):34-36	Others
98	高味 良行	心臓血管外科	Impact of Preoperative Nasopharyngeal Cultures on Surgical Site Infection after Open Heart Surgery	JTCVS Open 2021 Sep 16;8:478-486.	Others
99	鈴木 大和	呼吸器外科	Tracheobronchial reconstruction by inverted Barclay's method for tracheobronchial injury in an 8-year-old girl: a case report	Surgical Case Reports. 2022 Mar 28;8(1):54	Case report
100	喜島 祐子	乳腺外科	Oncoplastic breast surgery combining partial mastectomy with V-mammoplasty for breast cancer on the upper inner area of the breast	Surgery Today 2021 Jul;51(7):1241-1245	Others
101	喜島 祐子	乳腺外科	Immediate breast reconstruction with expander following recurrent lesion resection and exchange to silicon breast implant in a pregnant triple negative breast cancer patient, case report	Gland Surgery 2021 May;10(5):1792-1799	Case report
102	喜島 祐子	乳腺外科	Oncoplastic breast surgery combining partial mastectomy with resection of double equilateral triangular skin flaps	Surgery Today 2022 Mar;52(3):514-518	Others
103	安達 一英	脳神経外科	Prediction of Trigeminal Nerve Position Based on the Main Feeding Artery in Petroclival Meningioma	Neurosurgical review 2021 Apr;44(2):1173-1181	Original Article
104	安達 一英	脳神経外科	Objective and quantitative evaluation of angiographic vascularity in meningioma: parameters of dynamic susceptibility contrast-perfusion-weighted imaging as clinical indicators of preoperative embolization	Neurosurgical review 2021 Oct;44(5):2629-2638	Original Article
105	公文 将備	脳神経外科	Myoinositol to Total Choline Ratio in Glioblastomas as a Potential Prognostic Factor in Preoperative Magnetic Resonance Spectroscopy.	Neurologia medico-chirurgica 2021 Aug 15;61(8):453-460	Original Article
106	大場 茂生	脳神経外科	Inhibition of DNA Repair in Combination with Temozolomide or Dianhydrogalactiol Overcomes Temozolomide-Resistant Glioma Cells.	Cancers 2021 May 24;13(11):2570	Original Article
107	中江 俊介	脳神経外科	Association of preoperative seizures with tumor metabolites quantified by magnetic resonance spectroscopy in gliomas.	Scientific Reports 2021 Apr 12;11(1):7927	Original Article
108	中江 俊介	脳神経外科	Factors Associated with Prolonged Impairment of Consciousness in Adult Patients Admitted for Seizures: A Comprehensive Single-center Study	Neurologia medico-chirurgica 2021 Oct 15;61(10):570-576	Original Article
109	藤原 英治	脳神経外科	Frequency of Diplopia after Intraoperative Nerve Disturbance in Trochlear Nerve Schwannoma: A Case Report and Systematic Review.	Neurologia medico-chirurgica 2021 Oct 15;61(10):591-597	Case report
110	田邊 淳	脳卒中科	Cortical Blood Flow Insufficiency Scores with Computed Tomography Perfusion can Predict Outcomes in Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage Patients: A Cohort Study	Neurocritical Care 2021 Jun;34(3):946-955	Others

111	田邊 淳	脳卒中科	stenting: A novel, innovative technique for posterior communicating artery aneurysms with fetal-type posterior communicating artery originating from the aneurysm dome	Neuroradiology 2022 Jan;64(1):151-159	Others
112	田邊 淳	脳卒中科	Staged hybrid techniques with straightforward bypass surgery followed by flow diverter deployment for complex recurrent middle cerebral artery aneurysms	Frontiers in surgery 2022 Feb 2;9:824236	Others
113	陶山 謙一郎	脳卒中科	Efficacy of the Flow Re direction Endoluminal Device for cerebral aneurysms and causes of failed deployment	Neuroradiology Accepted: 8 November 2021	Others
114	陶山 謙一郎	脳卒中科	Delays in initial workflow cause delayed initiation of mechanical thrombectomy in patients with in-hospital ischemic stroke.	Fujita Med J Vol. 8 (2021), No. 3 pp. 73-78	Others
115	河村 吉紀	小児科	Vaccine effectiveness of two doses varicella vaccine in elementary school or preschool outbreak in Japan	Vaccine 2021 May 18;39(21) 2901-2905.	Original Article
116	須藤 湧太	小児科	A Case of Peripheral Venous Catheter-related Candidemia in an Immunocompetent Child	Pediatrics International 2022 Jan;64(1):e14883.	Case report
117	三宅未紗	小児科	Hippocampal Atrophy in Pediatric Transplant Recipients with Human Herpesvirus 6B	Microorganisms 2021 Apr 8;9(4):776.	Original Article
118	三浦浩樹	小児科	Inherited chromosomally integrated human herpesvirus 6 is a risk factor for spontaneous abortion	Journal of infectious diseases 2021 May 28;223(10) 1717-1723.	Original Article
119	三浦浩樹	小児科	Nosocomial infection with rotavirus vaccine strain in child patients with immunodeficiency	JOURNAL OF HOSPITAL INFECTION 2022 Mar;121:9-13.	Original Article
120	河村 吉紀	小児科	A Case of Aseptic Meningitis Without Skin Rash Caused by Oka Varicella Vaccine.	PEDIATRIC INFECTIOUS DISEASE JOURNAL 2022 Jan 1;41(1):78-79.	Case report
121	三浦浩樹	小児科	Effect of Lactococcus lactis Strain Plasma on HHV-6 and HHV-7 Shedding in Saliva: A Prospective Observational Study.	Microorganisms. 2021 Aug 8;9(8):1683.	Original Article
122	吉川哲史	小児科	Implementing vaccination policies based upon scientific evidence in Japan.	Vaccine 2021 Sep 7;39(38) 5447-5450.	Original Article
123	鈴木孝典	小児科	Coronary Artery Z Score is Associated with Postoperative Outcomes in Patients with Anomalous Origin of Left Coronary Artery from the Pulmonary Artery.	PEDIATRIC CARDIOLOGY 2022 Feb;43(2):443-448	Original Article
124	鈴木孝典	小児科	Sodium-containing versus sodium-trace preparations of IVIG for children with Kawasaki disease in the acute phase.	European journal of pediatrics 2021 Nov;180(11) 3279-3286.	Original Article
125	中島葉子	小児科	Influence of food on pharmacokinetics and pharmacodynamics of 4-phenylbutyrate in patients with urea cycle disorders	Molecular genetics and metabolism reports 2021 Sep 4;29:100799.	Original Article
126	近藤朋実	小児科	Identification of a novel mutation in carboxyl ester lipase gene in a patient with MODY-like diabetes	Tohoku Journal of Experimental Medicine 2022 Jan;256(1):37-41.	Case report
127	横井克幸	小児科	Novel ARG1 variants identified in an arginase 1 deficient patient	Human Genome Variation 2021 Feb 4;8(1):8.	Original Article
128	河村 吉紀	小児科	An atypical case of Kawasaki disease with severe pneumonia in a neonate	BMC Pediatrics 2022 Mar 14;22(1):132.	Case report

129	河村 吉紀	小児科	Evaluation of varicella vaccine effectiveness during outbreaks in schools or nurseries by cross-sectional study.	Vaccine. 2021 May 18;39(21) 2901-2905.	Original Article
130	渡邊 俊介	小児外科	Long-term results of splenomegaly after surgery for biliary atresia in the native liver	Asian Journal of Surgery	Original Article
131	渡邊 俊介	小児外科	A neonatal large neck lymphatic malformation successfully treated with Eppikajutsuto	The Journal of Pediatrics.	Case report
132	大林陽太	リハビリテーション部	Quantitative Evaluation of Facial Expression in a Patient With Minimally Conscious State After Severe Traumatic Brain Injury	JOURNAL OF HEAD TRAUMA REHABILITATION	Original Article
133	河野裕治	リハビリテーション部	Impact of heart failure severity on bone mineral density among older patients with heart failure	HEART AND VESSELS	Original Article
134	稲本陽子	リハビリテーション部	Annular Flow in the Upper Esophageal Sphincter Demonstrated with Dynamic 320-row Area Detector Computed Tomography	Dysphagia	Original Article
135	吉田大樹	リハビリテーション部	Development and validation of new evaluation scale for measuring stroke patients' motivation for rehabilitation in rehabilitation wards	PLoS One	Original Article
136	小山総市朗	リハビリテーション部	Wearable Power-Assist Locomotor for Gait Reconstruction in Patients With Spinal Cord Injury: A Retrospective Study	Frontiers in Neurorobotics	Original Article
137	伊藤一輝	リハビリテーション部	Electromyography-controlled gamified exercise system for the distal upper extremity: a usability assessment in subacute post-stroke patients	Disability and Rehabilitation: Assistive Technology	Original Article
138	栗飯原けい子	リハビリテーション部	Effect of tongue-hold swallow on posterior pharyngeal wall using dynamic area detector computed tomography	JOURNAL OF ORAL REHABILITATION	Original Article
139	加藤喜隆	リハビリテーション部	Stroke Patients with Nearly Independent Transfer Ability are at High Risk of Falling	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases	Original Article
140	藤村健太	リハビリテーション部	Requirements for Eliciting a Spastic Response With Passive Joint Movements and the Influence of Velocity on Response Patterns: An Experimental Study of Velocity-Response Relationships in Mild Spasticity With Repeated-Measures Analysis	Front Neurol	Original Article
141	Nagano F, Mizuno T, Imai M et al. (Co-first)	臨床薬剤科	Expression of a complement receptor type-1-related gene Y/p65 is reduced in acute lung injury induced by extracellular histones	FEBS OPEN BIO 2022 Jan;12(1):192-202.	Original Article
142	Okawa T, Mizuno T, Hanabusa S et al.	臨床薬剤科	Prediction model of acute kidney injury induced by cisplatin in older adults using a machine learning algorithm	PLOS ONE 2022 Jan 18;17(1):e0262021.	Original Article
143	Iwashita K, Mizuno T, Kumazawa S et al.	臨床薬剤科	Prognosis of Patients With Interstitial Lung Disease Induced by Different Pharmacological Types of Anticancer Drugs	Anticancer research 2021 May;41(5):2563-2568.	Original Article
144	Matsuzaki H, Hatano M, Iwata M et al.	臨床薬剤科	Treatment continuation of asenapine or olanzapine in Japanese schizophrenia patients: a propensity score matched cohort study	Neuropsychiatric Disease and Treatment 2021 Dec 14;17:3655-3661.	Original Article
145	Kato K, Mizuno T, Koseki T et al.	臨床薬剤科	Frequency of Immune Checkpoint Inhibitor-Induced Polymyalgia Rheumatica: An Observational Study Using Data from the Japanese Adverse Drug Event Report Database	Frontiers in Pharmacology 2022 Mar 25;13:803706.	Original Article
146	Koseki T, Nakajima K, Iwasaki N et al.	臨床薬剤科	Baseline uric acid levels and steady-state favipiravir concentrations are associated with occurrence of hyperuricemia among COVID-19 patients	International Journal of Infectious Diseases 2022 Feb;115:218-223.	Original Article

147	Hatano M, Takeuchi I, Yamashita K et al.	臨床薬剤科	Satisfaction survey on antipsychotic formulations by schizophrenia patients in Japan	Clinical Psychopharmacology and Neuroscience 2021 Nov 30;19(4):610-617.	Original Article
148	Kato K, Mizuno T, Koseki T et al.	臨床薬剤科	Concomitant Proton Pump Inhibitors and Immune Checkpoint Inhibitors Increase Nephritis Frequency	In vivo 2021 Sep-Oct;35(5):2831-2840.	Original Article
149	Nishibe-Toyosato S, Ando Y, Goto Y et al.	臨床薬剤科	The influence of intervening on the pharmaceutical consultation targeting outpatients with advanced non-small cell lung cancer receiving erlotinib treatment	Biological and Pharmaceutical Bulletin 2021 Sep 1;44(9):1280-1285.	Original Article
150	土井 裕次郎	放射線部	Estimating subjective evaluation of low-contrast resolution using convolutional neural networks.	Physical and Engineering Sciences in Medicine , 2021 Oct 11.	Original Article
151	Kawai Y	看護部	Prevalence of and factors associated with physical restraint use in the intensive care unit: a multicenter prospective observational study in Japan	Intern Emerg Med . 2022 Jan;17(1):37-42.	Others
152	Hamamoto M	看護部	Survey on the actual number of nurses required for critical patients with COVID-19 in Japanese intensive care units: Preliminary report	Preliminary report. Jpn J Nurs Sci. 2021 Jun 3;18(3):e12424.	Others
153	Unoki T	看護部	Workforce and Task Sharing of Nurses in the Japanese Intensive Care Unit-Cross-Sectional Postal Survey.	Healthcare2021 Aug 7;9(8):1017.	Others
154	Nakanishi N	看護部	Post-Intensive Care Syndrome and Its New Challenges in Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) Pandemic: A Review of Recent Advances and Perspectives.	J Clin Med. 2021 Aug 28;10(17):3870.	Others
155	Kawai Y	看護部	Recommendations for long-term outcomes in sepsis and septic shock: a comparison between Japanese and international guidelines.	J Intensive Care. 2022 Feb 5;10(1):6.	Others
156	伊藤 泰平	臓器移植科	Impact of the revision of the law on pancreatic transplants in Japan—An analysis of the Japanese Pancreas Transplants Registry	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences	Others
157	會田 直弘	臓器移植科	Analysis of risk factors for donation after circulatory death kidney transplantation in Japan	Clinical and Experimental Nephrology	Others
158	伊藤 泰平	臓器移植科	The History of Clinical Islet Transplantation in Japan	Journal of Clinical Medicine	Others
159	大野良治	放射線科	Comparison of Interobserver Agreement and Diagnostic Accuracy for IASLC/ITMIG Thymic Epithelial Tumor Staging Among Co-registered FDG-PET/MRI, Whole-body MRI, Integrated FDG-PET/CT, and Conventional Imaging Examination with and without Contrast Media Administrations.	Acad Radiol. 2022 Mar;29 Suppl 3:S122-S131.	Original Article
160	大野良治	放射線科	Machine learning for lung texture analysis on thin-section CT: Capability for assessments of disease severity and therapeutic effect for connective tissue disease patients in comparison with expert panel evaluations.	Acta Radiol. 2021 Oct 12:2841851211044973.	Original Article
161	山田 勢至	病理診断学	Primary central nervous system lymphomas with massive intratumoral hemorrhage: Clinical, radiological, pathological, and molecular features of six cases	Neuropathology 2021	Original Article
162	尾崎 隼人	消化器内科	Clinical response and changes in fecal microbiota and metabolites after fecal microbiota transplantation in patients with inflammatory bowel disease and recurrent Clostridioides difficile infection	Fujita Medical Journal	Original Article

163	葛谷 貞二	消化器内科	Initial experience of Atezolizumab plus Bevacizumab for advanced hepatocellular carcinoma in clinical practice	Cancer Diagnosis & Prognosis	Others
164	葛谷 貞二	消化器内科	Early Changes in Alpha-Fetoprotein Are a Useful Predictor of Efficacy of Atezolizumab plus Bevacizumab Treatment in Patients with Advanced Hepatocellular Carcinoma	Oncology	Others
165	川部 直人	消化器内科	Transcatheter arterial infusion chemotherapy with cisplatin in combination with transcatheter arterial chemoembolization decreases intrahepatic distant recurrence of unresectable hepatocellular carcinoma	JGH Open	Original Article
166	田中 浩敬	消化器内科	Immunohistochemical staining for IMP3 in patients with duodenal papilla tumors: assessment of the potential for diagnosing endoscopic resectability and predicting prognosis	BMC Gastroenterology	Others
167	中岡 和徳	消化器内科	Current status of the diagnosis of chronic pancreatitis by ultrasonographic elastography	The Korean Journal of Internal Medicine	Review
168	中岡 和徳	消化器内科	A rare case of pancreatic neuroendocrine neoplasm causing Cushing's syndrome	Clinical Journal of Gastroenterology	Case report
169	橋本 千樹	消化器内科	The Role of Endoscopic Ultrasound in the Diagnosis of Gallbladder Lesions	Diagnostics	Review
170	大宮 直木	消化器内科	Safety and Efficacy of the Endoscopic Delivery of Capsule Endoscopes in Adult and Pediatric Patients: A Multicenter Japanese Study (Advance-J Study)	Digestive Endoscopy	Original Article
171	稲葉 正人	感染症科	Diagnostic accuracy of LAMP versus PCR over the course of SARS-CoV-2 infection	Int J Infect Dis	Others
172	古関 竹直	臨床薬剤科	Baseline uric acid levels and steady-state favipiravir concentrations are associated with occurrence of hyperuricemia among COVID-19 patients.	Int J Infect Dis	Others
173	細田 卓也	臨床検査部	Comparison of sCIM and Other Phenotypic Detection Methods for Carbapenemase-Producing Enterobacterales	Microbiol Spectr	Others
174	佐藤美信	総合消化器外科	Mixed neuroendocrine non-neuroendocrine neoplasm with squamous cell carcinoma covered by tubulovillous adenoma in the	Clinical Journal of Gastroenterology	Case report
175	前田耕太郎	総合消化器外科	Questionnaire Survey of Bowel Habit in Japanese Medical Personnel	Journal of the Anus, Rectum and Colon	Original Article
176	柴崎晋	総合消化器外科	The safe performance of robotic gastrectomy by second-generation surgeons meeting the operating surgeon's criteria in the Japan	Asian Journal of Endoscopic Surgery	Original Article
177	須田康一	総合消化器外科	Safe implementation of robotic gastrectomy for gastric cancer under the requirements for universal health insurance	Gastric Cancer	Original Article
178	前田耕太郎	総合消化器外科	Outcomes of Transvaginal Anterior Levatorplasty with Posterior Colporrhaphy for Symptomatic Rectocele	Journal of the Anus, Rectum and Colon	Original Article
179	松岡宏	総合消化器外科	The Effects of Enteral Nutrition on the Intestinal Environment in Patients in a Persistent Vegetative State	Foods	Original Article
180	前田耕太郎	総合消化器外科	Prevalence and Risk Factors of Anal and Fecal Incontinence in Japanese Medical Personnel	The Japan Society of Coloproctology	Original Article

181	木口剛造	総合消化器外科	Wrapping double-mattress anastomosis for pancreaticojejunostomy in minimally invasive pancreaticoduodenectomy can significantly reduce postoperative pancreatic fistula rate compared with conventional pancreaticojejunostomy in open surgery: An analysis of a propensity score-matched sample	Surgical Oncology	Original Article
182	柴崎晋	総合消化器外科	Impact of the Endoscopic Surgical Skill Qualification System on the safety of laparoscopic gastrectomy for gastric cancer	Surgical Endoscopy 2021 Nov;35(11):6089-6100.	Original Article
183	佐藤美信	総合消化器外科	Implantation of rectosigmoid cancer in a preexisting anal fissure	Int Cancer Conf J . 2021 Jan 5;10(2):139-143. doi	Others
184	前田耕太郎	総合消化器外科	Transvaginal peritoneocele repair with anterior levatorplasty for patients with a rectocele and an enterocele.	Surg Today. 51(5):844-847.,2021.5	Others
185	池田 真理子	臨床遺伝科	Restoration of glycosylation of alpha dystroglycan in disease models of Fukuyama muscular dystrophy	iScience	Others

計185件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					
2					
3					
~					

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 別紙参照 (「藤田医科大学 人を対象とする医学系研究に係る医学研究倫理審査委員会申請手順書」)	
倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に 印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 別紙参照(「藤田医科大学 利益相反マネジメント規程」)	
利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年2回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容 第1回倫理セミナー(2021/6/30) 第2回倫理セミナー(2022/3/7)	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

専門研修コース

当院の専門研修では、各診療領域における適切な教育を行い、十分な知識・経験を身につけ、患者から信頼される標準的な医療を提供できるとともに、先端的な医療を理解して情報を提供できる医師を育成することを目的としている。

臨床研修修了後に各診療科に入局し、原則としてプログラム制で基本19領域に対応した専攻医研修を行う。各領域で作成されたプログラムに基づき、専門医資格取得に必要な症例を経験しながら、基幹施設6か月以上、連携施設3か月未満とならないようにローテート研修を実施する。基本領域の専門医を取得した後は引き続きSubspecialty領域の専門医取得を目指すことも可能である。

なお、基本領域の専門研修を行いながら、医学博士取得のために大学院に進学する社会人大学院の制度も設けている。

また、各診療科ではSubspecialty領域の専門医取得のみにこだわらず、専攻医の自主性を尊重して多様なキャリアデザインをサポートするコースも設定している。

自由選択制総合研修コース（臨床助手）

幅広い領域での診療能力の充実と多様化した現代医療のニーズに対応するために本コースを設定。

（1）救急やcommon diseaseなどプライマリ・ケアに対する診療能力の向上（2）専門研修に入る前に総合的な診療能力や関連領域での知識、態度、技能の獲得（3）臨床研修期間では未履修ないし不十分な部門についての選択研修を本コースで行う。

ローテート期間は各診療科原則3か月以上としてローテートする診療科や期間は自由に選択できる。

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	114.92人
-------------	---------

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
井澤 英夫	循環器内科	教授	32年	
今泉 和良	呼吸器内科・アレルギー科	教授	36年	
廣岡 芳樹	消化器内科	教授	35年	
入山 智沙子	血液内科	准教授	18年	
河田 健司	臨床腫瘍科	教授	24年	
安岡 秀剛	リウマチ・膠原病内科	教授	24年	
坪井 直毅	腎臓内科	教授	28年	
鈴木 敦詞	内分泌・代謝・糖尿病内科	教授	33年	
岩田 充永	救急医学・総合内科	教授	23年	
渡辺 宏久	脳神経内科	教授	28年	
土井 洋平	感染症科	教授	23年	
武地 一	認知症・高齢診療科	教授	35年	
岩田 仲生	精神科	教授	32年	
吉川 哲史	小児科	教授	35年	

鈴木 達也	小児外科	教授	37年	
須田 康一	総合消化器外科	教授	36年	
高木 靖	心臓血管外科	教授	36年	
星川 康	呼吸器外科	教授	30年	
日比 八束	内分泌外科	教授	29年	
喜島 祐子	乳腺外科	教授	28年	
奥本 隆行	形成外科	教授	34年	
廣瀬 雄一	脳神経外科	教授	34年	
松本 省二	脳卒中科	教授	25年	
藤田 順之	整形外科	教授	21年	
金子 慎二郎	脊椎・脊髄科	教授	23年	
杉浦 一充	皮膚科	教授	27年	
白木 良一	泌尿器科	教授	37年	
剣持 敬	移植・再生医学	教授	38年	
藤井 多久磨	産婦人科	教授	34年	
伊藤 逸毅	眼科	教授	29年	
楯谷 一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	教授	27年	
大高 洋平	リハビリテーション科	教授	24年	
外山 宏	放射線科	教授	37年	
林 真也	放射線腫瘍科	教授	33年	
西田 修	麻酔・侵襲制御医学	教授	35年	
白井 正信	外科・緩和医療学	教授	29年	
船曳 知弘	救急科	教授	24年	
塚本 徹哉	病理診断科	教授	34年	
伊藤 弘康	臨床検査科	教授	27年	
大杉 泰弘	豊田市・藤田医科大学 連携地域医療学	准教授	17年	
吉田 光由	歯科・口腔外科	教授	30年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

【臨床工学部】

呼吸器研修 輸液関連研修 血液浄化研修 生体情報モニタ研修
保育器研修 除細動器研修

【リハビリテーション部】

PIRRC (実用先進リハビリテーションカンファランス)2021

テーマ : 摂食嚥下リハビリテーションの基礎・実践・最先端

摂食嚥下リハビリテーションとチーム医療、嚥下CTによる喉頭閉鎖メカニズムの解明、食道入口部開大に対するバルーン拡張、末梢神経磁気刺激を用いた摂食嚥下障害治療について

テーマ : リハビリテーションロボットのいま

リハビリテーションロボット総論、歩行練習支援ロボットのいま、バランス練習支援ロボットのいま、自立支援・介護支援ロボットのいま、について

【薬剤部】

新人セミナー：新人対象の薬効別セミナー

単元別研修会

第2回医薬品安全管理研修（ポリファーマシーに関する研修）

【臨床検査部】

臨床検査セミナー「心電図検査のファーストステップ」

クオリティセミナー「精度管理について」

検査室における患者急変時の対応

接遇研修「患者さん・ご家族に対して好感・安心感を伝えられるマナーの基本」

【放射線部】

1. 2021年度 放射線部 院内研修会実施記録

第1回放射線部教育研修会

- ・新しいMRI 3D高速撮像技術の臨床応用に向けた基礎的検討
- ・畳み込みニューラルネットワークの回帰アプローチを用いた低コントラスト分解能の主観的評価の自動化
- ・次世代型マンモグラフィ フォトンカウンティング技術の応用

第2回放射線部教育研修会

- ・Web開催の研究会等への参加方法

MRI部門研修会1

- ・Functional MRI撮像について ~Canon側~

第3回放射線部教育研修会

- ・第1教育病院の核医学診療における医療被ばく線量管理の実態
- ・医療放射線の線量管理・記録について【総論】
- ・医療放射線安全管理におけるCT検査の取り組み
- ・医療放射線安全管理室における血管造影の線量管理報告
- ・血管造影装置における装置表示線量値と線量計実測値の誤差検討

第4回放射線部教育研修会

- ・小腸X線造影検査における放射線防護具使用時の術者の水晶体被ばく低減効果
- ・藤田医科大学病院における放射線業務従事者の2020年度放射線被ばく状況
- ・新しいMRI3D高速撮像技術の臨床応用に向けた基礎的検討

MRI部門研修会2

- ・ 全身MRI撮像について ~ Canon側 ~

第5回放射線部教育研修会

- ・ 高速撮像技術とディープラーニング再構成技術が金属アーチファクト補正画像に及ぼす影響
- ・ 実効エネルギーがCTDIと平均吸収線量に与える影響-モンテカルロシミュレーションによる検討-
- ・ 不確実性に対処する最適化機能を用いた放射線治療計画の堅牢性の評価
- ・ CTガイド下生検におけるチルト機構による金属アーチファクトへの影響

第6回放射線部教育研修会

- ・ PET/CT装置のTOF時間分解能の違いによる集積欠損領域の描出能と定量比較
- ・ 心筋SPECT画像に対するDeep Learningを用いたノイズ除去法の開発
- ・ 心アミロイドーシスにおける 99mTc-PYPを用いたSPECT/CTの定量指標と視覚評価の比較
- ・ FDG-PETを用いた心サルコイドーシスの高集積領域検出に関する検討

MRI部門研修会3

- ・ MVD術前のCT/MRI Fusion画像

第7回放射線部教育研修会

- ・ Digital Radiographyシステムにおける付加フィルタの最適化に向けた検討
- ・ フラットパネルディテクタを用いた撮影時に生じる内部構造の映り込みに関する基礎検討

MRI部門研修会4

- ・ V8 version up説明会

2 . 2021年度 放射線部 放射線治療 医療機器安全対策研修会

1 . リニアック装置に関わる安全研修会

ヒヤリハットからの安全対策

停電や緊急時においてリニアックの治療台のコントロールが機能しなくなった場合の患者退避方法

2 . RALSに関わる研修会

RALS治療中の緊急線源格納方法について

RALS治療中の地震・火災・停電時のアクションカードを使った対応方法

【看護部】

ハートリフレクション

ハートリフレクション

ハートリフレクション

接遇研修

接遇研修

ユニット研修 ~

チームマネジメント

管理職として求められる労務管理

看護マネジメントリフレクション

学び続ける組織~管理者に求められる倫理的リーダーシップ~

事例展開から考える看護実践

メンバーシップを発揮するためのスキル~報告・連絡・相談の必要性SBARを用いた情報提供~

より良い人間関係を構築するコミュニケーション

身近な事例で考える看護倫理

事例展開から考える看護実践

多職種カンファレンスでの看護師の役割

ストレスコーピング

専門職の倫理~看護職が直面する倫理問題と倫理調整力~

事例展開から考える看護実践

退院支援～医療制度・診療報酬から考える～

- ①働きがいを感じる職場づくり
- ②静脈注射レベル3
- ③静脈注射レベル3フォローアップ
- ④認知症ケア
- ⑤緩和ケア
- ⑥クリティカルケア
- ⑦糖尿病
- ⑧院内認定フォローアップ研修（認知症）
- ⑨院内認定フォローアップ研修（緩和）
- ⑩院内認定フォローアップ研修（クリティカルケア）

・研修の期間・実施回数

【臨床工学部】

2021年4月2日、4月20日、5月26日、6月16日、6月22日、6月24日、7月28日、8月20日、
9月7日、9月10日、9月28日、10月1日、10月4日、10月11日、10月12日、10月13日、
10月14日、11月4日、11月17日、11月18日、2022年2月9日、2月24日

2021年5月14日、6月25日、6月29日、7月13日、7月30日、9月27日、10月1日、10月4日、
10月7日、10月8日、10月12日、10月13日、12月20日、12月21日、12月23日、2022年3月4日、
3月30日

2021年4月7日、5月19日、6月30日、7月1日、7月2日、7月30日、8月26日、9月7日、
10月7日、10月27日

2021年4月6日、4月8日、4月19日、5月11日、5月20日、5月31日、6月2日、7月26日、
7月27日、8月10日、9月7日、9月28日、10月1日、10月4日、10月7日、10月19日、10月21日、
10月28日、12月22日、2022年3月16日、3月18日、3月26日

2021年10月7日、12月2日

2021年4月23日、7月14日、9月7日、11月26日、2022年1月29日、3月3日、3月17日

【リハビリテーション部】

2021年7月3日

2022年2月26日

【薬剤部】

12回

6回

1回

【臨床検査部】

2021年4月23日～2022年3月31日

2021年5月27日～2021年6月18日

2021年7月29日～2021年8月19日

2021年9月30日

【放射線部】

1. 2021年度 放射線部 院内研修会実施記録

2021年4月7日

2021年5月6日

2021年6月9日

2021年10月4日

2021年10月6日

2021年10月12日

2021年10月25日

2021年11月17日

2022年2月4日

2022年3月4日

2022年3月7日

2 . 2021年度 放射線部 放射線治療 医療機器安全対策研修会

・ リニアック装置に関わる安全研修会

2021年9月25日

2022年3月19日

・ RALSに関わる研修会

2021年10月30日

2022年3月12日

【看護部】

2021年6月2日、6月29日いずれか1時間

2021年9月9日、9月29日いずれか1時間

2022年2月

2021年4月21日

2021年11月22日～12月8日

期2021年4月、 期2021年5月、 期2021年9月、 期2022年2月

2021年8月17日

2021年6月15日

2021年7月13日

2021年6月8日

2021年6月～10月

2021年8月6日

2021年9月2日

2021年7月

2021年6月～10月

2021年7月1日

2021年9月30日

2021年7月

2021年6月～10月

2021年8月20日

㉑2021年9月17日

㉒1回目2021年5月28日、2回目2021年6月25日、3回目2021年7月30日、4回目2021年8月27日、
5回目2021年9月24日、6回目中止、7回目2021年10月29日、8回目2021年11月26日

㉓2021年6月～11月いずれか1時間

㉔2021年9月6日

㉕2021年11月12日

㉖2021年11月22日9時～15時

㉗1回目2021年9月22日、2回目2021年11月25日9時～15時

㉘2021年7月26日

㉙2021年8月11日

㉚2021年8月2日

・研修の参加人数

【臨床工学部】

323名、 290名、 130名、 431名、 74名、 134名

【リハビリテーション部】

163名、 110名

【薬剤部】

10-11名

110名

106名

【臨床検査部】

590名

94名

132名

58名

【放射線部】

1 . 2021年度 放射線部 院内研修会実施記録

17名

4名

11名

16名

10名

4名

9名

9名

14名

21名

9名

2 . 2021年度 放射線部 放射線治療 医療機器安全対策研修会

・ リニアック装置に関わる安全研修会

9名

8名

・ RALSに関わる研修会

6名

10名

【看護部】

198名

198名

198名

201名

199名

期201名、 期199名、 198名

44名

56名

27名

40名

153名

82名

76名

67名

16名

18名

69名

13名

9名

50名

⑳76名

㉑1回目36名、2回目18名、3回目50名、4回目49名、5回目45名、6回目中止、7回目45名、
8回目41名

㉒282名

㉓24名

㉔21名

㉕30名

㉖1回目27名、2回目33名

㉗21名

㉘14名

㉙25名

業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

【臨床工学部】

部員教育オリエンテーション

（ア）各種登録

（イ）訓練記録、力量評価、年間目標

(ウ) 接遇

(エ) 工学部概要

(オ) 環境、防災

(カ) 情報システム、個人情報マネジメント

(キ) 感染対策

(ク) 安全管理

(ケ) 業務プロセス

血液浄化療法穿刺研修

補助循環関連研修会

接遇セミナー

【リハビリテーション部】

オリエンテーション、藤田医科大学病院のリハビリテーション、ばんだね病院のリハビリテーション、七栗記念病院のリハビリテーション、岡崎医療センターのリハビリテーション、個人情報保護、PCセキュリティ、安全管理、リハビリテーション看護、SIAS/FIM評価のポイント、障害者の社会制度：COSPIRE

【薬剤部】

新人の薬剤師業務に係る研修

医薬品インシデント対策研修

【臨床検査部】

1. 新規採用者研修

部員教育オリエンテーション

(ア) 各種登録、届出等

(イ) 力量評価、年間目標

(ウ) 検査部概要

(エ) 品質マネジメントシステム

(オ) 環境、防災

(カ) 情報システム、個人情報マネジメント、セキュリティ

(キ) 感染対策

(ク) 安全管理

採血研修

部門ローテーション研修

夜勤研修

毒劇物管理について

2. 継続的教育研修

【放射線部】

部署概要

- ・ 部門の理念と方針、部門の年度目標、QI指標、職員紹介、指導体制

部署概要

- ・ 勤務体制、就業規則、行動規範
- ・ 部門業務の概要（日間、週間、月間、年間予定）

就労管理

- ・ 勤務実績入力（超過勤務）、休暇申請

災害発生時の対応

- ・ 緊急連絡体制、避難経路と避難場所
- ・ 消火器設置場所と消火器の使用方法

職員の安全対策等

・血液・粘膜暴露後への対応

・暴力行為・不審者・不審電話への対応

・廃棄物区分、禁煙指導・健康診断

従事前教育

・MRI検査の安全管理

社会人教育・接遇

・身だしなみ、接遇（患者・スタッフ）、社会人マナー、モラル

医療安全

・安全文化、報告体制、過去の事例

卒後教育

・病院全職員対象研修会、部内研修会、院外研修会

・技師会、技術学会への入会の勧め

JCI AOP領域

・JCIの概略、IPSG、疼痛アセスメント、パニック画像

ハラスメント

・ハラスメントの防止・対策

従事前教育

・JCI放射線安全プログラム

・医療放射線安全管理（ビデオ視聴含む）

・電離放射線障害防止

教育訓練 1

・放射線業務従事者教育訓練（予防規程・関係法令）

教育訓練 2

・放射線業務従事者教育訓練（RI等の安全取扱い）

個人情報管理

- ・ 個人情報管理
- ・ PCセキュリティ認定制度
- ・ 施設のセキュリティ対策

【看護部】

ER研修

MRI検査介助研修

感染管理研修

臨地実習指導者研修

院内留学研修

男性看護師会

社会人経験のある新人看護職員サポート研修

中途採用者研修

准看護師研修

診療補助研修

夜勤専従者研修

ウィズコロナ時代のメンタルヘルスとマネジメント（看護管理者対象）

健康で安全な職場作り（看護管理者対象）

- ・ 研修の期間・実施回数

【臨床工学部】

2021年4月1日～4月7日（計15回）

2021年8月～9月の期間内に1名に対して5日間実施

2021年5月31日、6月9日、8月3日、9月7日、9月29日（計5回）

2021年11月

【リハビリテーション部】

2021年4月12日～5月31日までに、藤田学園ポータルサイト内「学びばこ」に掲載されている動画を視聴して、テストを受け（全問正解で合格）、アンケートに回答して受講終了。

【薬剤部】

着任1年間随時

12回

【臨床検査部】

2021年4月1日～4月9日 ・13回(土日除く)

2021年4月12日～7月16日 ・19回(対象期間内に)

2021年6月1日～9月1日 ・15～22日(対象期間内に7部署；日数は業務担当により異なる)

2021年7月5日～2022年1月16日 ・3回

2021年12月3日

【放射線部】

～ 2021年4月1日

～ 2021年4月2日

～ 2021年4月5日

【看護部】

2021年6月14日～7月29日までの期間の2日間

2021年6月3日(昇任した副主任のみ4月26日～4月30日)

2021年6月1日

2021年7月28日、8月25日

8月以降各月第3・第4週

2021年6月30日、8月4日、11月10日、2022年3月11日

2021年6月29日 14時～14時30分

適宜

2021年9月15日、9月21日、9月22日のいずれか1日

中央研修6月～11月の1.5時間、分散研修11月～2月

適宜

2021年4月27日

2021年5月11日

・研修の参加人数

【臨床工学部】

5名、 5名、 112名、 26名

【リハビリテーション部】

24名

【薬剤部】

11名

120名

【臨床検査部】

9名

7名

7名

6名

130名

【放射線部】

～ 全て6名

【看護部】

18名

90名

23名

7月28日39名、8月25日42名

8月7名、9月7名、10月8名、11月9名、

2021年6月30日14名、8月4日33名、11月10日21名、2022年3月11日22名

1名

24名

3名

189名

13名

54名

38名

他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

【臨床工学部】

ECMOシミュレーション

ECMOネット主催によるECMO普及のための講習会。当院技士よりECMOのプライミング、導入までの流れ、管理について参加者にレクチャー。

【リハビリテーション部】

第8回STのための嚥下実習講習会 Basicオンラインコース

摂食嚥下障害について、講義と実習形式にて講習（研修）会を開催。摂食嚥下障害の総論、診断、訓練、歯科アプローチについて講義実施、実習は嚥下機能訓練についてデモンストレーションを含めながら解説。嚥下造影検査（VF）/嚥下内視鏡検査（VE）について評価演習を実施。

【薬剤部】

がん専門薬剤師認定要件に準じた研修

尾三会薬剤師に対する研修（フォーミュラリ）

【臨床検査部】

なし

【放射線部】

なし

【看護部】

・社会の動向とがん医療～これからのACPを考える～

・研修の期間・実施回数

【臨床工学部】

2022年3月12～13日

【リハビリテーション部】

2021年7月17日～7月18日（2日間）

【薬剤部】

98回

年2回の予定（うち1回はコロナの状況により中止）

【臨床検査部】

なし

【放射線部】

なし

【看護部】

2022年2月5日 13時～17時

2022年3月19日 13時～17時

・研修の参加人数

【臨床工学部】

1名

【リハビリテーション部】

44名

【薬剤部】

3名

11名

【臨床検査部】

0名

【放射線部】

0名

【看護部】

38名

40名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
管理責任者氏名	病院長 白木 良一	
管理担当者氏名	事務部長 成田 達哉 総務室長 工藤 靖博 医療事務室長 城取 光徳 入院医事課長 植田 幸裕 外来医事課長 後藤 靖司	人事部労務課長 鹿野 大輔 安全管理室長 伊東 昌広 感染対策室長 石川 清仁 薬剤部長 山田 成樹

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病院総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	診療録管理室
		手術記録	診療録管理室
		看護記録	診療録管理室
		検査所見記録	診療録管理室
		エックス線写真	診療録管理室
		紹介状	診療録管理室
	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療録管理室	・外来カルテ、入院カルテ共に電子カルテとしてしています。 ・保存期間は外来カルテは最終外来受診日より10年、入院カルテは最終退院日より20年且つ最終外来受診日より5年です。 ・エックス線写真の保存期間は撮影年の開始後5年です。 ・「藤田医科大学病院における患者個人情報保護に関するガイドライン」に基づき、診療録を含む患者個人情報については原則持出を認めていない。職務遂行上やむを得ず持ち出す必要がある場合は、匿名化・暗号化等配慮を行った上で、個人情報管理責任者(病院長)へ「患者個人情報の持ち出し届」を提出する。
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事部
		高度の医療の提供の実績	外来医事課 入院医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院総務課
		高度の医療の研修の実績	病院総務課
		閲覧実績	病院総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	外来医事課 入院医事課
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	外来医事課、入院医事課 薬剤部	
規則第一條の第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	安全管理室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	安全管理室	

		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	安全管理室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	安全管理室	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	臨床工学部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	安全管理室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	インフォームド・コンセント委員会 庶務担当者
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報システム部
		医療安全管理部門の設置状況	安全管理室
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	病院総務課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	法人本部総務部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	安全管理室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	法人本部総務部
		職員研修の実施状況	安全管理室 感染対策室 等
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	安全管理室 薬剤部 臨床検査部 等
管理者が有する権限に関する状況	病院総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	法人本部監査室		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	法人本部総務部		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 <input type="checkbox"/> 2. 現状 <input checked="" type="checkbox"/>
閲覧責任者氏名	事務部長 成田 達哉
閲覧担当者氏名	総務室長 工藤 靖博
閲覧の求めに応じる場所	応接室
閲覧の手続の概要 管理運営関係、診療関係 1. 閲覧申し込み 閲覧申込書を総務課に提出する。 2. 承認者 事務部長 3. 閲覧方法 指定した日時に応接室で行う。 4. 返納方法 当日返納とし、総務課へ返納する。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理責任者の配置 ・ 医療に係る安全の確保を目的とした改善の為の方策 ・ その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（ 有・無 ） ・ 開催状況：年 30回 ・ 活動の主な内容： <p>医療問題対策委員会（月1回）：医療事故及び医事紛争の予防対策等の推進、安全管理統計報告、有害事象報告、MET要請状況報告、院内患者死亡報告状況、患者相談窓口からの報告、医療の質管理室報告</p> <p>事故防止対策委員会（月1回）：事故の防止と安全管理上の体制の確保及び推進</p> <p>セーフティマネージャー連絡会（偶数月1回）：医療問題対策委員会の審議結果など、医療安全に関する情報を連絡・共有する</p>	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 10 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため集合研修をとりやめ、随時受講可能なeラーニングシステムを活用して開催した。</p> <p>全員必須の研修会：安全管理研修会（年2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年度第1回安全管理研修会 『医療の質と安全性を向上させるための院内ルール』： 病院職員受講者数3364名 ・ 2021年度第2回安全管理研修会 『エビデンスに基づいたチーム医療のすすめ チームSTEPPS』 病院職員受講者数3298名 <p>その他研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新教職員オリエンテーション：病院関係新採用者382名、その他新採用者25名 ・ インスリン投与量を誤った事例：109名 ・ 肺血栓症・深部静脈血栓予防に使用するサージカルストッキング、フットポンプの正しい使用方法：90名 ・ 酸素ボンベ・アウトレットの取り扱いと点検：113名 ・ 三方活栓と閉鎖式コネクタの正しい使用方法：109名 ・ 医療安全の基礎：5S活動の勧め：179名 ・ 医療におけるKYT～気づく、見守る目を養うために～：148名 ・ 2021年度 医療の質・安全対策部報告会：126名 	

医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（・無）
医療事故防止マニュアルが平成12年5月1日に発行され、事故防止委員会が編集し令和3年（2021年）5月18日に改訂されている。

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

事故防止対策委員会にて改善策を検討し、医療問題対策委員会へ報告、承認を得ている。事例によっては院内事例検討会を開催し改善策を検討する。
部署のみの改善が必要な場合は、安全管理室より対象部署の責任者または、セーフティマネージャーへ検討指示書を作成、改善策の提示を求める。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容： 医療関連感染防止対策指針（令和2年4月1日改訂） 第1条 医療関連感染防止に対する基本的な考え方 第2条 医療関連感染防止対策の組織に関する基本事項 第3条 医療関連感染防止対策のための研修に関する基本方針 第4条 感染症発生状況の報告に関する基本方針 第5条 医療関連感染発生時の対応に関する基本方針 第6条 医療関連感染防止対策指針の閲覧に関する基本方針 第7条 その他の医療関連感染防止対策推進のために必要な基本方針</p>	
院内感染対策のための委員会の開催状況	年 30 回
<p>・ 活動の主な内容： 感染防止対策委員会（年 12 回） 感染防止対策実務小委員会（年 12 回） 感染防止対策担当者会（全 6回） 手指衛生などの標準予防策や感染経路別予防策の遵守状況確認を目的とする定期的院内巡視 医療関連感染防止対策の立案と実施、評価、改善 サーベイランス報告に対する評価 医療関連感染発生時に原因の疫学的調査及び分析 抗菌薬適正使用支援チームに関する事項 滅菌や消毒の標準化 食品管理 感染対策実施訓練の立案と評価 建築物工事に伴う 感染対策 耐性菌など細菌検出情報の共有と対策の立案 実践院内感染防止対策マニュアル の作成及び改訂 地域連携カンファランスへの参加と医療関連感染対策に関する相談 その他医療関連感染防止</p>	
従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の内容（すべて）： 新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、eラーニングシステムの活用やWEB会議を取り入れて開催。</p> <p>・ 新教職員オリエンテーション：病院新採用者 382名、その他新規採用者25名 ・ 感染防止対策研修会（年2回） 3,363名 第1回：2021/10/1 3,283名 第2回：2022/2/15 ・ 医療の質・安全対策部 報告会 126名 2022/3/25</p>	
感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 感染防止対策委員会：月 1 回 感染防止対策実務小委員会：月 1 回 感染防止対策担当者会：奇数月 臨床教授会：月 1 回 診療連絡会：月 1 回 衛生委員会：月 1 回 ASTカンファレンス：週1回</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医薬品安全管理責任者の配置状況	<input type="checkbox"/> 有・無
従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年2回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>ハイアラート薬に関する研修 医師向け・・・処方オーダー時の注意について 看護師向け・・・薬品使用時の注意について 薬剤師向け・・・全般的な内容 研修医向け（毎月開催）・・・疑義照会事例、薬剤関連トピックス</p>	
<p>医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p> <p>・ 手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/>有・無</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>手順書に沿った業務の確認をチェックリストを用いて実施</p>	
<p>医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/>有・無</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：</p> <p>安息香酸ナトリウム・シトルエンの高アンモニア血症、3,4-ジアミノピリジンのランバート・イートン筋無力症候群への使用</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>睡眠薬などベンゾジアゼピン系薬剤の使用量削減対策 便秘薬の適正使用推進</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無																		
従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年182回																		
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工呼吸器関連：23回 ・閉鎖式保育器関連：3回 ・補助循環・人工心肺関連：13回 ・高エネルギー放射線発生装置関連：7回 (職種・人数：医師：392名、看護師：1487名、その他：853名 合計2,732名) ・除細動装置関連：7回 ・血液浄化装置関連：11回 ・放射線照射装置関連：3回 ・その他：115回 																			
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況																			
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">人工呼吸器</td> <td style="padding: 2px;">11,333件 (内定期点検487件)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">輸液関連機器</td> <td style="padding: 2px;">31,947件 (内定期点検935件)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">補助循環関連装置</td> <td style="padding: 2px;">72件</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">透析関連装置</td> <td style="padding: 2px;">50件</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">閉鎖式保育器</td> <td style="padding: 2px;">10件</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">生体情報モニタ</td> <td style="padding: 2px;">1,878件 (内定期点検129件)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">除細動装置</td> <td style="padding: 2px;">352件 (内定期点検110件)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">その他</td> <td style="padding: 2px;">14,218件</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right; padding: 2px;">合計59,860件</td> </tr> </table>		人工呼吸器	11,333件 (内定期点検487件)	輸液関連機器	31,947件 (内定期点検935件)	補助循環関連装置	72件	透析関連装置	50件	閉鎖式保育器	10件	生体情報モニタ	1,878件 (内定期点検129件)	除細動装置	352件 (内定期点検110件)	その他	14,218件	合計59,860件	
人工呼吸器	11,333件 (内定期点検487件)																		
輸液関連機器	31,947件 (内定期点検935件)																		
補助循環関連装置	72件																		
透析関連装置	50件																		
閉鎖式保育器	10件																		
生体情報モニタ	1,878件 (内定期点検129件)																		
除細動装置	352件 (内定期点検110件)																		
その他	14,218件																		
合計59,860件																			
医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況																			
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)：</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内医療機器不具合報告書の運用(データの収集、解析、フィードバック)による再発防止。 ・ 医療機器の機種標準化による操作ミス防止。 ・ 医療機器の返却と貸出の動線を区別する事による間接触感染防止。 ・ 人工呼吸回路の吸気・呼気チューブの色を、青と白に分けると共に、呼吸器本体の吸気側、呼気側にも同色シールを貼付する事による回路誤接続防止。 ・ 「点検・整備済みシール」の運用による使用後点検実施率の向上。 ・ 生体情報モニタのアラーム基準(FEWS)を設けることにより、アラームのムダ鳴りを低減。 ・ 輸液ポンプ使用時のフリーフロー防止のための安全機構が備わっている輸液ポンプを導入。 																			

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（<input checked="" type="checkbox"/>医師・<input type="checkbox"/>歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>・医療安全管理責任者は、医療の質・安全対策部部長担当の副院長である。</p> <p>・医療の質・安全対策部長は、安全管理室、感染対策室、医療の質管理室を統括している。</p> <p>・安全管理室、感染対策室、医療の質管理室長は専従の医師が担当している。</p> <p>・薬剤部長を医薬品安全管理責任者、臨床工学部副部長を医療機器安全責任者としており、両者とも安全管理室員としている。</p>	
専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> （7名）・無
<p>医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>外部情報（PMDA、医薬品関連サイト等）より入手し、院内状況に併せて情報提供。月に1回の情報誌の発刊、その他随時案内</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>申請書の内容に応じ、情報収集し、是非の判断、必要な安全対策の検討を行っている。</p> <p>申請のない未承認薬等（医薬品の適応外使用等）を把握した場合には、適否を調査し、申請を依頼している。</p> <p>・担当者の指名の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・<input type="checkbox"/>無）</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部医薬品情報室，職種 薬剤師） （所属：安全管理室 ，職種 薬剤師 ）</p>	
医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （ <input checked="" type="checkbox"/>有・<input type="checkbox"/>無 ）</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容</p> <p>：ガイドラインでは、説明において、医療サイドでは医師、看護師と必要に応じて、理学療法士、栄養士、薬剤師など他職種が同席し、患者サイドでは、患者本人、親族、キーパーソンが同席し、説明内容と参加者、患者側の説明に対する理解度、反応をICタグに記載することが記載されている。</p> <p>また、月に一度診療記録監査を実施している。定期的にインフォームドコンセントの実施状況を確認</p>	

認し、不十分である場合は紙面にて指導を行い、十分に出来ている場合は評価をしている。

診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療録等の管理に関する責任者は、診療情報システム委員会委員長 井澤英夫 教授である。</p> <p>本委員会では、全ての退院患者を対象に診療録管理室が実施している監査項目のうち、退院サマリの作成率（退院後7日、14日以内）を毎月報告、それ以外の項目は3ヵ月ごとに結果を報告している。また、診療録の記載内容の監査として、各診療科から毎月4名ずつ患者を抽出し、本委員会の委員である医師、看護師、医療技術職、診療情報管理士による多職種がチェックシートを用いて監査を行い、3ヵ月に一度委員会で結果を報告している。</p> <p>なお、これら監査結果のうち、記録が特に不足しているものについては、診療科の教授や対象者に対して個別にフィードバックと指導を行い、診療記録に向上に取り組んでいる。</p>	
医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>【安全管理室】</p> <p>・所属職員：専従（6）名、専任（0）名、兼任（7）名 うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（5）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（0）名 理学療法士：専従（1）名 事務員：専従（1）名 臨床工学技士：兼任（1）名</p> <p>【医療の質管理室】</p> <p>・所属職員：専従（4）名、専任（1）名、兼任（0）名 うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名 うち薬剤師：専従（0）名、専任（0）名、兼任（0）名 うち看護師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名</p> <p>【感染対策室】</p> <p>・所属職員：専従（2）名、専任（2）名、兼任（2）名 うち医師：専従（0）名、専任（1）名、兼任（2）名 うち薬剤師：専従（0）名、専任（1）名、兼任（0）名 うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（0）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p>	

- ・活動の主な内容：

【安全管理室】

- ・ 各委員会等における資料や議事録の作成、保存、その他庶務を行う
- ・ 医療安全指針及び医療事故防止マニュアル等を見直す
- ・ 定期的な院内巡視による医療安全対策の実施を確認する
- ・ 巡視内容（2021年度実績）
 - 患者の正確な識別 患者確認のプロセスを確立する
 - 医療情報の正確な識別
 - ハイアラート薬の管理と投与
 - 手術または侵襲的処置の誤認防止策の確立
 - 医療関連感染のリスク低減
 - 転倒・転落のリスク低減
- ・ セーフティマネージャーの活動を統括する
- ・ 院内死亡例の情報把握、検討及び結果の医療問題対策委員会に対する報告を行う
- ・ 安全管理研修会、及び医療安全に関する研修会等の企画及び実施、評価を行う
- ・ 医療事故を防止するために、インシデント報告書の内容確認、情報収集、現場確認及び分析を行い、対策を立案する
- ・ 重大事例発生時における、事故内容の把握と対応状況の確認、診療に関する記録の確認や、患者や家族への対応指導を実施する
- ・ 重大事例発生時における、関係診療科を含めたミーティング、院内事例検討会、外部有識者を加えた医療事故調査委員会等を開催する
- ・ 医療事故に対する再発防止策の立案や関係部署への実施支援および効果確認を行う。また、必要に応じて外部調査機構へ報告する
- ・ 医療安全の意識について職員にモニタリング調査を実施したり、意識向上の為の啓発活動や研修会等を実施する

【医療の質管理室】

- ・ 院内全部署および院内共通の医療の質改善指標の設定、改善活動支援
- ・ 国際患者安全目標（患者確認、コミュニケーション、薬剤管理、手術安全、感染制御、転倒転落予防）の指標設定および測定・改善活動支援
- ・ 患者安全・医療の質向上に資するデータの測定、分析支援
- ・ 現場で生じる課題に対するシステム分析支援
- ・ 院内の文書管理システムの構築支援
- ・ 倫理コンサルテーションチーム運営

【感染対策室】

- ・ 手指消毒を含む標準予防策や感染経路別予防の指導と遵守状況の確認を目的とした院内巡視と結果の評価とフィードバック、改善策の立案と実施

- ・医療関連感染に関する教育の計画と実施
- ・サーベイランスの実施と評価及び改善に向けての検討と指導
- ・アウトブレイク時の迅速な対応、医療関連感染発生原因の疫学的調査の実施と分析、評価、再発防止に向けての改善策の立案
- ・抗菌薬の適正使用に関するマニュアル整備、薬剤使用量のサーベイランスや診療科ごとの評価と検討、改善案の提案
- ・滅菌や消毒に関する現場巡視による確認と指導
- ・食品管理に関する現場巡視による確認と指導
- ・誤穿刺・粘膜曝露の現場対応に関する相談窓口業務と衛生委員会への助言
- ・感染対策実施訓練の実施と評価に基づく改善点の検討
- ・建築物工事に伴う感染対策の確認と指導
- ・耐性菌など細菌検出情報の作成と感染拡大阻止を目標とした対策の決定と実施、関連部署への通知と教育指導
- ・実践院内感染防止対策マニュアルの作成及び定期的な改訂作業の実施
- ・地域連携カンファレンスの企画と実施、近隣または連携施設からの医療関連感染対策に関する相談窓口業務と支援
- ・その他の医療関連感染防止対策に関する審議全般

平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（10件）、及び許可件数（10件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
高難度新規医療技術と判断される医療の提供が行われる可能性が生じた場合、申請を求める。申請の内容を評価委員会に送り、実施の適否を検討し判断する
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

<p>未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（43件）、及び許可件数（43件） ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ） ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ） ・活動の主な内容： 未承認医薬品の使用状況調査、それに関わる情報収集、適切な使用条件の提案 定期的な使用状況調査 ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ） ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ）
<p>入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 1128 件 ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 326 件 ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 医療安全管理委員会の活動の主な内容(当院は「医療問題対策委員会」) ・ 医療事故及び医療事故及び医事紛争の予防対策の検討及び推進 ・ 医療事故及び医療事故及び医事紛争の対応方法、情報交換、教育・研修 ・ 院内死亡報告に関する事項 ・ 患者相談窓口からの苦情、相談等に関する事項 ・ 事故防止対策委員会からの提出議題の審議 <p>医療事故調査委員会、事例検討会における検討事項に関する対応等</p>
<p>他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・他の特定機能病院等への立入り（ <input checked="" type="checkbox"/> (病院名：杏林大学医学部附属病院、大阪国際がんセンター) ・無) ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ <input checked="" type="checkbox"/> (病院名：杏林大学医学部附属病院、大阪国際がんセンター) ・無) ・技術的助言の実施状況

特段の助言無し

当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

- ・患者からの苦情・相談に適切に応じるため、患者相談窓口を設置している。総務室長を責任者とし、専任の総務課員が担当する。平日・土曜日の時間内の対応については専任の総務課員が担当し、時間外および日曜日・祝祭日においては事務日当直者が対応、その後、相談窓口の専任総務課員に引き継ぎを行う。
- ・患者、家族等から受けた苦情・相談は責任者に報告するとともに、必要に応じて関係部署に報告し、速やかな解決に向けた連絡調整を行う。医療安全対策が必要であると考えるものについては病院長へ直ちに報告する。
- ・苦情・相談により患者、家族等が不利益を受けないように適切な配慮を行う。相談は希望に応じ個室で聴取し、プライバシーに配慮する。内容は秘密保護に努める。

職員研修の実施状況

・研修の実施状況

【インフォームドコンセント・高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等・監査委員会・公益通報】年1回研修会を実施しているが、前年度と今年度は新型コロナウイルス感染拡大を考慮して、eラーニングシステム等を活用して周知している。

【診療録記載等】

新入教職員者を対象に電子カルテの操作研修を実施している。また、診療記録の記載基準については、電子カルテシステムに公開している。

新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、eラーニングシステムの活用やWEB会議を取り入れて開催。

- ・新教職員オリエンテーション：病院新採用者 382名、その他新規採用者25名
- ・感染防止対策研修会（年2回）
3,363名 第1回：2021/10/1
3,283名 第2回：2022/2/15
- ・医療の質・安全対策部 報告会 126名 2022/3/25

(注) 前年度の実績を記載すること(の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修

の実施状況

・研修の実施状況

【医療機器安全管理責任者】

2021年度特定機能病院管理者研修（公益財団法人日本医療機能評価機構）

（令和4年2月2日(水)）

【医薬品安全管理責任者】

日本病院薬剤師会医薬品安全管理責任者等講習会（2021/11/21）

【医療安全管理責任者】

令和元年度特定機能病院管理者研修（日本病院機構）

（注）前年度の実績を記載すること

医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

2021年9月3日 日本医療機能評価機構「一般病院3(主たる機能)精神科病院(副機能)」

2021年12月18日 Joint Commission International「Academic Medical Center Hospital」

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

病院機能評価の結果をホームページにて公表

・評価を踏まえ講じた措置

改善要望事項はありません。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 ・ 医療安全確保のために必要な資質及び能力 ・ 藤田医科大学病院を管理運営する上で必要な資質及び能力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 <p>藤田医科大学病院ホームページ</p>

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 <p>藤田医科大学病院ホームページ</p>	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	特別の関 係
湯澤 由紀夫	藤田医科大学 学長		理事会において選任したもの	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
岩田 仲生	藤田医科大学 医学部長		理事会において選任したもの	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
野田 慶一	藤田学園法人本 部統括事務局長		理事会において選任したもの	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
金田 嘉清	藤田医科大学保 健衛生学部長		理事会において選任したもの	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
齋藤 邦明	藤田医科大学医 療科学部長		理事会において選任したもの	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
堀口 明彦	藤田医科大学 ばんだね病院長		理事会において選任したもの	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
眞野 恵好	藤田医科大学病 院看護部長		理事会において選任したもの	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無

辻村 亨	辻村外科病院理 事長、院長		理事会において選任した学外の 有識者	有・無
佐藤 貴久	相生山病院 院 長		理事会において選任した学外の 有識者	有・無

規則第9条の2 3 第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 診療活動及び院内業務の活性化に関する事項 運営合理化に関する事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 拡大病院幹部会及び臨床系教授会、診療連絡会議で周知 ・合議体に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・公表の方法 藤田学園内ホームページ ・外部有識者からの意見聴取の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (を付す)	職種	役職
白木 良一		医師	病院長
今泉 和良		医師	副院長
鈴木 達也		医師	副院長
吉川 哲史		医師	副院長
井澤 英夫		医師	副院長
岩田 充永		医師	副院長
廣岡 芳樹		医師	副院長
藤田 順之		医師	副院長
眞野 恵好		看護師	副院長、看護部長
廣瀬 雄一		医師	病院長アドバイザー
鈴木 敦詞		医師	病院機能管理・JCI 対策アドバイザー
長谷川 みどり		医師	院長特任補佐
宮原 良二		医師	院長特任補佐
吉野 誠		事務	院長特任補佐

山田 成樹		薬剤師	薬剤部長
成田 達哉		事務	事務部長
内藤 健晴		医師	病院長アドバイザー、理事
越村 公宣		事務	病院機能管理・JCI対策室主査
城取 光徳		事務	医療事務室長
中井 英貴		事務	企画広報室長
工藤 靖博		事務	総務室長
青山 正晴		事務	参与(病院担当)
吉野 賢治		事務	理事長付病院群経営 担当部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 (・ 無)
- ・ 公表の方法
藤田学園内ホームページ
- ・ 規程の主な内容
病院長の職務と権限
病院長の予算執行に関する権限
- ・ 管理者をサポートする体制 (副院長、院長補佐、企画スタッフ等) 及び当該職員の役割

副院長	筆頭副院長 (診療 担当)	今泉	和良
	(医療の質・医療安全・感染対策 担当)	鈴木	達也
	(教育研修・働き方改革 担当)	吉川	哲史
	(病診連携 (前方) ・国際化 担当)	井澤	英夫
	(救急医療・災害医療 担当高度救命救急センターアドバイザー)	岩田	充永
	(がんセンター・臨床研究・治験 担当)	廣岡	芳樹
	(手術部・広報担当)	藤田	順之
	(職場環境・接遇・病診連携 担当)	眞野	恵好
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

白木病院長	令和3年度特定機能病院管理者研修
鈴木副院長	令和元年度特定機能病院管理者研修 (いずれも公益社団法人日本医療機能評価機構)
山田薬剤部長	令和3年度医薬品安全管理責任者

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・活動の主な内容： 医療法に定める「医療の安全の確保」を図るため、医療安全に係る内部統制等が機能しているか等、医療安全管理の取組状況等について、外部監査を行い、必要な是正措置を含む助言や指導を実施する体制を構築する。</p> <p>・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・委員名簿の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・委員の選定理由の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）</p> <p>・公表の方法： 藤田学園内ホームページ</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
稲葉 一人	中京大学法務総合教育研究機構教授		法律に関する見識者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
後藤 克幸	CBC テレビ 論説室解説委員		メディアの医療安全に関する見識者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
小浮 正典	豊明市長		一般市民の代表者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2
堀口 明彦	藤田医科大学 ばんだね病院 病院長		医療に関する 学識経験者	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	1
金田 嘉清	藤田医科大学 保健衛生学部長		医療に関する 学識経験者	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	1

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

藤田学園法人本部監査室において、業務が法令及び本学園の定める諸規程等に則り、適正に遂行されているかを公平かつ客観的な立場で評価し、その評価結果に基づき助言・提案を行うことによって、業務の改善と効率化、教職員の意識の向上を図り、健全な発展と社会的信頼の保持に資することを目的として活動している。

・ 専門部署の設置の有無 (・ 無)

・ 内部規程の整備の有無 (・ 無)

・ 内部規程の公表の有無 (・ 無)

・ 公表の方法

藤田医科大学病院ホームページ

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 学校法人藤田学園理事に藤田医科大学病院長が選任されており、この理事をもって維持する理事会が置かれている。理事会は、この法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する。 ・ 会議体の実施状況（ 年14回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ）（ 年13回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>・無 ） ・ 公表の方法 学校法人藤田学園内ホームページ 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (有 ・ 無)
- ・ 通報件数 (年 0 件)
- ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (有 ・ 無)
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (有 ・ 無)
- ・ 周知の方法

学校法人藤田学園ホームページ

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類(任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 情報発信の方法、内容等の概要・ ホームページにて診療科案内、先端医療の説明、外来医師担当表などの病院概要説明を発信している。・ 患者さん、地域医療機関向けに病院の最新情報を発信するローカルコミュニティ誌を作成し、配布している。・ 地域医療機関向けに診療科の特長を紹介するガイドブックを作成し配布している。・ 院内ラジオ「フジタイム」にて診療科教授による治療の説明や院内コンサートなど院内の患者さん向けに情報を発信している。・ 年に1回「看護の日」「介護の日」に患者さん、住民向けに健康に対する講話、介護用品の説明などを行っている。・ 「学びネット愛知」、「生涯学習Webナビなごや」にて、地域住民向けに市民公開講座告知、公開授業を行っている。・ 年間1回は、診療科の特色や取り組みの鍾愛を目的とした「地域連携ガイドブック(年度版)」発行し、年間3回の外来医師担当表を掲載した「地域連携ガイドブック(簡易版)」を愛知県内の地域連携医療機関へ配布している。・ 各地域医師会や自治体と協力し、医療者向け医学研究会や市民向け公開講座を共同で開催している。・ 2021年度は地域がん診療連携拠点病院(高度型)として「がん地域医療連携パス」に関わる講演会を地域医師会で領域別に実施し、参加施設は22施設増加し、がん地域連携パス新規登録患者数は21%増加した。・ 大学と連携して自治体、地域医師会と災害医療に関わる協定を締結し、愛知県基幹災害拠点病院として地域全体での災害対策情報発信・共有・支援等を計画している。・ 感染症対策総合展で、院内感染対策の方法からワクチン大規模集団接種までの院内で培ったノウハウの紹介を行った。・ 集団接種運用のノウハウをまとめた動画を自治体や企業などに無償配布した。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要・ チーム医療として、褥瘡対策チーム、NSTチーム、緩和ケアチーム、精神科リエゾンチームを設け、複数の診療科が連携して治療にあたっている。・ 臓器別に内科と外科が合同カンファレンスを行い、症例検討を行っている。・ 手術時、必要に応じて、複数の診療科医師による合同手術を行っている。・ SCU病棟(脳卒中ケアユニット)では、脳神経内科と脳卒中科共同により、集中治療を行っている。	